

## 2. 地域の思いを生かした取り組み

第一部において、地域社会環境を取り上げ、その中で、特に、地域住民の立場からみた景観等を検討することの必要性及び重要性について述べました。そして、地域への住民の「思い」という漠然とした、抽象的なものを「思い入れの場・物」と総称しました。

ダム事業のように、自然を対象とし、大規模な土地の改変を伴う事業を計画する場合、改変される地域の気候や風土、また、その地域で生活している住民に配慮する必要があると考えます。特に、地域の気候や風土は、事業計画そのものに係わることであり、さらに、ダム事業により影響を受ける地域の住民の協力なくしては事業を進めていくことが困難となります。また、それは、事業の成否を握っていると言っても過言ではありません。

そこで、第二部では、「地域の思いを生かした取り組み」と題して、「思い入れの場・物」を取り上げます。具体的には、「思い入れの場・物」を構成する重要な要素、すなわち、場や物に着目し、「思い入れの場・物」に対する住民の「思い」を場や物に帰着させることにより把握しようと試みました。そして、思い入れの場・物にどのような住民の「思い」が込められているかを把握することで、思い入れの場・物に対する取り組みを検討しました。

なお、「地域で生活している住民に配慮する」ということを検討する際、本来であれば、住民と住民の触れ合い、地域の組織からなる社会活動等の変遷や変質そのものを検討する必要があると考えます。しかしながら、ここでは、一定の客観性を持って検討を行うことを目的に、住民と住民の触れ合いや地域の組織からなる社会活動の一部が投影され、視覚的に把握しやすい状態となっている「思い入れの場・物」に限定して検討を行いました。

## 2.1 「思い入れの場・物」の検討

### 1) 項目及び検討手法

嘉瀬川ダム建設事業による思い入れの場・物に対する影響の検討をどのように行うのかについて説明します。

思い入れの場・物というものは、地域づくりという観点から、地域の人々が地域のために議論をし、結論を導き出すものです。そのため、本報告書では、思い入れの場・物に対する住民の「思い」についての整理を行います。

なお、詳細は「2) 調査結果の整理」に記載していますが、後述の「3.4.2 景観」等との混乱を避けるため、ここでは、思い入れの場・物のうち、景観に係るものを「思い入れの景観」、人と自然との触れ合いの活動の場に係るものを「思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場」、歴史的文化的遺産に係るものを「地域の文化的遺産」として、区別しています。また、思い入れの場・物には活動もありますので、「人と人との触れ合いの活動の場」とし、場所や構造物を媒介として取り上げていきます。

#### (1) 影響検討の考え方

思い入れの場・物への影響の検討では、はじめにどのような視点で調査及び予測を進めるかを明確にし、今後の取り組みを検討することが重要です。

検討における調査項目、予測項目及び今後の取り組みを整理し、図 2.1-1 に示します。

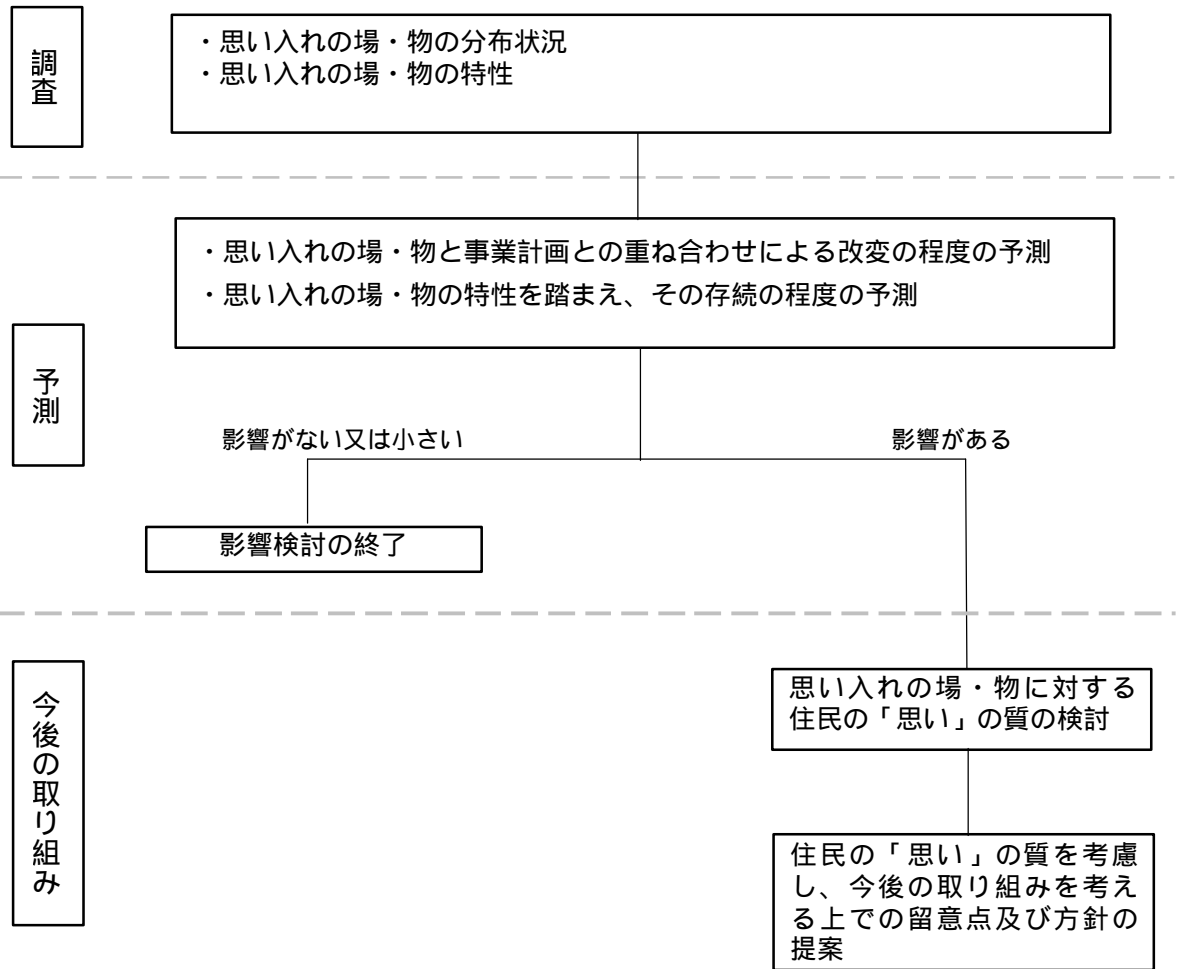


図 2.1-1 思い入れの場・物の影響検討の考え方

## (2) 調査手法

予測を行うにあたり必要な情報を得るための調査の内容を表 2.1-1 に整理しました。

ヒアリング調査では調査地域内の各地区の区長さん、アンケート調査では調査地域内に位置する北山小学校の 4 年生～6 年生を対象としました。また、現地踏査及び文献調査ではヒアリング調査及びアンケート調査により把握した思い入れの場・物の確認を行いました。なお、本章では、区長さんを中心として成り立っている集落を地区として扱っています。

表 2.1-1 調査の内容

調査項目	調査手法	調査地域	調査期間等
思い入れの場・物の分布状況及び特性	ヒアリング調査、アンケート調査、現地踏査、文献調査	事業により移転した家屋等の移転前の集落、又は、移転後の集落周辺	調査期間:平成 14 年度 調査時期: 平成 14 年 11 月 5 日 平成 15 年 1 月 11 日～13 日、 16 日、17 日 調査時間帯:昼間

## (3) 予測手法

どのような切り口で思い入れの場・物への影響を予測するのかについて、表 2.1-2 に整理しました。

表 2.1-2 予測項目及び予測手法

予測項目	予測手法
・思い入れの場・物の改変又は消失の程度	・思い入れの場・物と事業計画を重ね合わせることで改変又は消失への影響を予測しました。 ・思い入れの場・物の特性を踏まえ、その存続の程度を予測しました。

### ・予測地域の考え方

予測地域は、嘉瀬川ダム周辺の住民の思い入れの場・物に影響が及ぶおそれがあると考えられる範囲とし、事業により移転した家屋等の移転前の集落、又は、移転後の集落周辺としました。

## (4) 今後の取り組み

今後の取り組みを検討するには、思い入れの場・物に対して、住民がどのような「思い」を抱いているのかを把握する必要があると考えました。そこで、SD 法アンケート調査により思い入れの場・物に対する住民の「思い」の質を把握し、今後の取り組みを考える上での留意点及び方針を提案することとしました。SD 法アンケート調査の内容を表 2.1-3 に整理しました。

なお、調査対象者について、嘉瀬川ダム周辺として富士町役場職員、北山中学校生徒及び嘉瀬川ダム周辺の住民、一方、嘉瀬川ダム周辺以外として佐賀県庁職員を選定しました。ただし、嘉瀬川ダム周辺の住民については、表 2.1-1 に示すヒアリング調査の対象者である各地区の区長さん以外の住民としました。

表 2.1-3 調査の内容

調査項目	調査手法	調査対象者	調査期間等
思い入れの場・物に対する住民の「思い」の質	SD 法アンケート調査	富士町役場職員、北山中学校生徒、嘉瀬川ダム周辺の住民、佐賀県庁職員	調査期間:平成 15 年度 調査時期:平成 15 年 10 月～11 月 調査時間帯:特に限定しない

## 2) 調査結果の整理

調査結果は、図 2.1-2 に示す流れに沿って整理しました。整理した具体的な一例を図 2.1-3 に示します。なお、本報告書では、嘉瀬川ダム建設事業の影響を検討していますので、社会情勢の変化や嘉瀬川ダム以外の事業等の影響により既に消失しているものは対象外としました。

調査結果の整理は、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果をもとに、思い入れの場・物を抽出していくこととなりますが、その際、この後に続く、「3) 影響予測結果の概要」及び「4) 今後の取り組み」を見据えて、「思い入れの場・物の特性による分類」及び「思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類」で整理しました。

「思い入れの場・物の内容による分類」では、思い入れの場・物が何に依存しているのか、思い入れの場・物を構成する重要な要素は何かを把握することで、「4) 今後の取り組み」を検討する上での判断材料の一つになると考えました。

また、「思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類」では、思い入れの場・物への住民の「思い」の質を環境質で捉えることで、改変又は消失、存続等を予測することができると考えました。

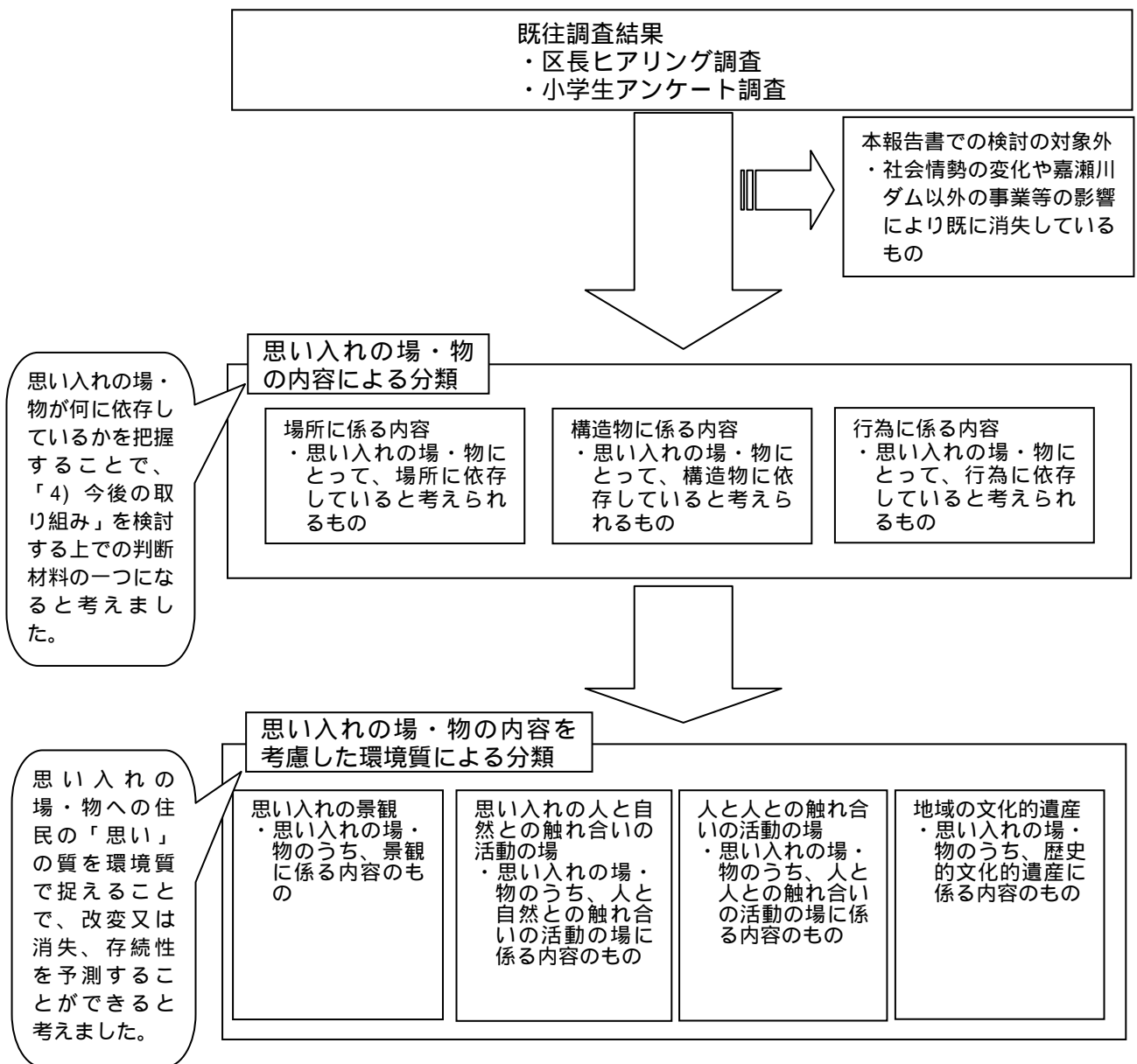
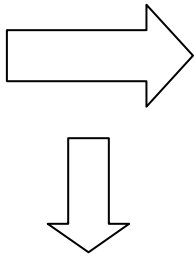


図 2.1-2 調査結果の整理の流れ

区長ヒアリング調査、小学  
生アンケート調査の結果

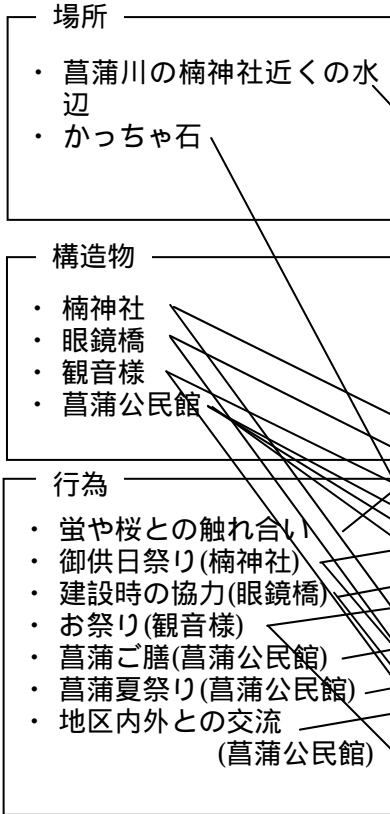
- ・ 楠神社では、10月15日に豊作を祝う御供日祭り(大まつり)が行われている。
- ・ 楠神社の近くの川では蛍が見られる。また、かつてはよく川遊びを行っていた。
- ・ 地区の人は初参りには楠神社でおまいりをする。
- ・ 菖蒲地区で区域の人々の思いが一番ある場所は、眼鏡橋である。地区への玄関口にも位置する。かつて、眼鏡橋を作ったころは、地区の人はかなりの寄付を行っていたであろうし、橋の建設にかなりの協力をしていた。今回のダム建設により、眼鏡橋の橋のたもと辺りまで水につかかってしまう。崩れないかどうか心配である。地区としては、県道と付け替え道路に眼鏡橋の移設を希望している。
- ・ 観音様で8月18日にお祭りがある。観音様は女性の守り神である。サラダ、ゼリーなどを作る。4つの古賀(4~5戸からなる)で昼に集まり夜に公民館に移動する。女性だけの祭りである。
- ・ 観音様の横には、箱があり、前かけのようなものが入っており、妊婦の時にとりに行き、出産の後、返しに行き、お参りをする。
- ・ 土捨場の造成により、楠神社前の河川の付け替えも行われる。現在生息している生物がどうなるのかが不安である。河川沿いの桜もどうなるのであろう。河川は、自然石を置き、また水のたまる場所も設け、なるべく現在の状況が残るようにしたい。
- ・ 荘源院は、かつて水害があり、その時に周りの木々も流されてしまっている。鎮守の森などは残っていない。
- ・ 楠神社は、楠木正成由来の神社である。本堂が老朽化しており、立て替えようか検討中である。
- ・ 地区内の協力や地区外との交流で一番大きな行事は菖蒲ご膳である。今回のダム関係において、毎回開催場所として利用している公民館の移設の問題等があるが、今後も続けていきたいと考えている。
- ・ 菖蒲ご膳の食材はすべて菖蒲地区内で作られたものや採ったものである。
- ・ 8月には、公民館の外で菖蒲夏祭りが行われる。盆踊りや焼肉、山菜料理等で楽しむ。菖蒲ご膳は、リピーターの方も多く、夏祭りも菖蒲ご膳参加者の方も招待している。地区外の方も呼んでいる。
- ・ 地区内地区外との交流は、菖蒲ご膳を中心として、そのつながりから、広がっていている。



対象外(社会情勢等、ダム事業以外の影響により消失)

- < 荘源院 >
  - ・ 荘源院は、かつて水害があり、その時に周りの木々も流されてしまっている。鎮守の森などは残っていない。
- < 川遊び(楠神社の近くの川) >
  - ・ 昔は、川遊びが盛んであった。

思い入れの場・物の特性による分類



思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類

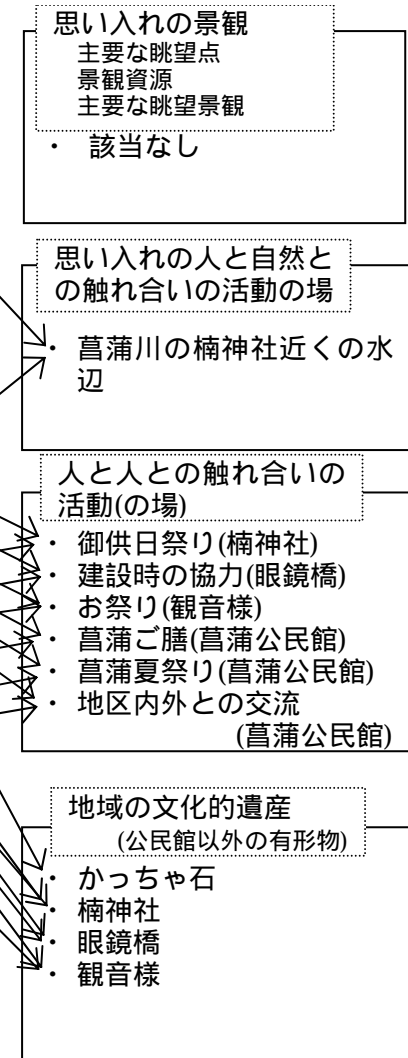


図 2.1-3 調査結果の整理の具体的な例(菖蒲地区の場合)



以上を踏まえて、整理した結果を表 2.1-4 に示します。

表 2.1-4 調査結果(1/3)

集落	環境質による分類	思い入れの場・物
東畑瀬地区	思い入れの景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東畑瀬の集落と権現山の風景</li> <li>・畑瀬橋の西畑瀬側から権現山の風景</li> <li>・畑瀬橋の東畑瀬側から豊富宮の風景</li> </ul>
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	-
	人と人との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋まつり(豊富宮)</li> <li>・カンコロまつり(豊富宮)</li> <li>・祇園まつり(豊富宮)</li> <li>・交流(豊富宮)</li> <li>・祇園まつり(毘沙門堂)</li> <li>・宴会(東畑瀬公民館)</li> </ul>
	地域の文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富宮</li> <li>・毘沙門堂</li> <li>・白山神社</li> <li>・あなた権現</li> <li>・天神杉</li> <li>・神代勝利の墓</li> </ul>
西畑瀬地区	思い入れの景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西畑瀬地区(西畑瀬代替地)から権現山の風景</li> </ul>
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	-
	人と人との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初参り・大祭り(畑瀬神社)</li> <li>・交流(西畑瀬公民館)</li> <li>・お彼岸、お盆、正月、大祭りの時の清掃作業(八幡神社)</li> </ul>
	地域の文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑瀬神社</li> <li>・八幡神社</li> <li>・恵泉寺</li> </ul>
栗並地区	思い入れの景観	-
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子安神社</li> </ul>
	人と人との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元始祭り、風祭り、丑の日祭り(子安神社)</li> <li>・お祭り(三光寺)</li> <li>・豊前坊祭り(豊前坊様)</li> <li>・夫婦石祭り(夫婦石)</li> <li>・太鼓の会</li> </ul>
	地域の文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子安神社</li> <li>・昭安橋</li> <li>・夫婦石</li> <li>・三光寺</li> </ul>

注)1. - :該当する思い入れの場・物がないことを示します。

2.( )内は、思い入れの場・物が依存する場所又は構造物を示します。

表 2.1-4 調査結果(2/3)

集落	環境質による分類	思い入れの場・物
大串地区	思い入れの景観	・大串の浦川橋からの風景
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・水遊び(大串河川プール)
	人と人との触れ合いの活動の場	・交流(大串公民館) ・弁財天祭り(弁財天) ・お参り(櫛田神社) ・お祭り(大権現) ・立石祭り ・七夕 ・早馬様祭り(早馬様) ・土曜学校、お正月(光照寺)
	地域の文化的遺産	・弁財天 ・櫛田神社 ・大権現 ・早馬様 ・光照寺
大野地区	思い入れの景観	・望郷の丘公園から栗並の風景 ・春日神社からの風景
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・春日神社
	人と人との触れ合いの活動の場	・祭り、相撲(春日神社) ・交流(大野公民館) ・青年部会 ・七福神(各戸及び大野公民館) ・交流、清掃作業(望郷の丘公園) ・清掃(金福寺) ・庚甲様(春日神社裏の大野地区の祠) ・弁天様祭り(弁財天)
	地域の文化的遺産	・春日神社 ・春日神社裏の大野地区の祠 ・弁財天 ・金福寺
中原地区	思い入れの景観	・北山小学校からの風景
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・中原公園 ・神水川の水辺
	人と人との触れ合いの活動の場	・遊び(北山小学校) ・三社祭り(春日神社) ・お祭り、参詣、小宴(中原公園) ・18夜の例祭(中原観音) ・お祭り(九郎社) ・薬師さん祭り(薬師様) ・虫供養(正念寺) ・協力(冠婚葬祭)
	地域の文化的遺産	・春日神社 ・弁財天 ・中原観音 ・九郎社 ・薬師様 ・正念寺

注)1. - :該当する思い入れの場・物がないことを示します。

2.( )内は、思い入れの場・物が依存する場所又は構造物を示します。

表 2.1-4 調査結果(3/3)

集落	環境質による分類	思い入れの場・物
古湯地区	思い入れの景観	・古湯権現山から古湯温泉街の風景
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	-
	人と人との触れ合いの活動の場	・古湯映画祭、花火大会(古湯温泉) ・町民体育大会 ・鯉供養 ・御供日
	地域の文化的遺産	・北向神社 ・淀姫神社 ・松森神社
須田地区	思い入れの景観	-
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・九州自然歩道
	人と人との触れ合いの活動の場	・お祭り(天満宮) ・鉦浮立(須田地区の6社の神社) ・お祭り(観音様)
	地域の文化的遺産	・天満宮 ・須田地区の6社の神社 ・白鬚神社 ・観音様
菖蒲地区	思い入れの景観	-
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・菖蒲川の楠神社近くの水辺
	人と人との触れ合いの活動の場	・御供日祭り(楠神社) ・建設時の協力(眼鏡橋) ・お祭り(観音様) ・菖蒲ご膳(菖蒲公民館) ・菖蒲夏祭り(菖蒲公民館) ・地区内外との交流(菖蒲公民館)
	地域の文化的遺産	・かっちゃん石 ・楠神社 ・眼鏡橋 ・観音様

注)1. - :該当する思い入れの場・物がないことを示します。

2.( )内は、思い入れの場・物が依存する場所又は構造物を示します。

### 3) 影響予測結果の概要

表 2.1-5 に示すとおり、思い入れの場・物のうち、「思い入れの景観」、「地域の文化的遺産」といった環境質に該当するものについては、それらの分布状況と事業計画との重ね合わせにより予測を行いました。また、「思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場」、「人と人との触れ合いの活動の場」といった環境質に該当するものについては、活動の内容、組織等、伝承又は継続できるか否かを主な判断材料として、その存続の程度を予測しました。影響予測結果を表 2.1-6 に示し、影響があると予測される思い入れの場・物の影響の内容と概要を表 2.1-7 に、分布状況を図 2.1-4 に示します。なお、思い入れの場・物の概要については、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の他に、文献調査から把握した情報をもとに整理しました。

影響予測においては、本報告書の作成時期を考慮し、原則として平成 15 年 4 月を影響検討の開始時期とし、影響を予測することとしました。そのため、例えば、影響検討の開始時期の時点で、既に移設されている東畑瀬地区の地域の文化的遺産である「豊富宮」に関する予測結果は、「影響はない」となります。

表 2.1-5 思い入れの場・物の特性を考慮した環境質毎の予測手法

思い入れの場・物の特性を考慮した環境質による分類	予測手法
思い入れの景観	思い入れの場・物と事業計画を重ね合わせるにより改変又は消失の程度を予測しました。
思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場 人と人との触れ合いの活動の場	思い入れの場・物の活動の内容、組織等、伝承又は継続できるか否かを主な判断材料として、その存続の程度を予測しました。
地域の文化的遺産	思い入れの場・物と事業計画を重ね合わせるにより改変又は消失の程度を予測しました。

表 2.1-6 予測結果(1/3)

集落	環境質による分類	思い入れの場・物	予測結果
東畑瀬地区	思い入れの景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東畑瀬の集落と権現山の風景</li> <li>・畑瀬橋の東畑瀬側から権現山の風景</li> <li>・畑瀬橋の西畑瀬側から豊富宮の風景</li> </ul>	- - -
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場		
	人と人との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋まつり(豊富宮)</li> <li>・カンコロまつり(豊富宮)</li> <li>・祇園まつり(豊富宮)</li> <li>・交流(豊富宮)</li> <li>・祇園まつり(毘沙門堂)</li> <li>・宴会(東畑瀬公民館)</li> </ul>	-
	地域の文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富宮</li> <li>・毘沙門堂</li> <li>・白山神社</li> <li>・あなた権現</li> <li>・天神杉</li> <li>・神代勝利の墓</li> </ul>	(移転済み) - - -
西畑瀬地区	思い入れの景観	・西畑瀬代替地から権現山の風景	-
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場		
	人と人との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初参り・大祭り(畑瀬神社)</li> <li>・交流(西畑瀬公民館)</li> <li>・お彼岸、お盆、正月、大祭りの時の清掃作業(八幡神社)</li> </ul>	-
	地域の文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑瀬神社</li> <li>・八幡神社</li> <li>・恵泉寺</li> </ul>	- (移転済み) (移転済み)
栗並地区	思い入れの景観		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・子安神社	
	人と人との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元始祭り、風祭り、丑の日祭り(子安神社)</li> <li>・お祭り(三光寺)</li> <li>・豊前坊祭り(豊前坊様)</li> <li>・夫婦石祭り(夫婦石)</li> <li>・太鼓の会</li> </ul>	- - -
	地域の文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子安神社</li> <li>・昭安橋</li> <li>・夫婦石</li> <li>・三光寺</li> </ul>	(移転済み) - -

注)1.( )内は、思い入れの場・物が依存する場所又は構造物を示します。

2. - :影響があることを示します。

3. :影響がない又は小さいことを示します。

表 2.1-6 予測結果(2/3)

集落	環境質による分類	思い入れの場・物	予測結果
大串地区	思い入れの景観	・大串の蒲川橋からの風景	-
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・水遊び(大串河川プール)	
	人と人との触れ合いの活動の場	・交流(大串公民館) ・弁財天祭り(弁財天) ・お参り(櫛田神社) ・お祭り(大権現) ・立石祭り ・七夕 ・早馬様祭り(早馬様) ・土曜学校、お正月(光照寺)	
	地域の文化的遺産	・弁財天 ・櫛田神社 ・大権現 ・早馬様 ・光照寺	
大野地区	思い入れの景観	・望郷の丘公園から栗並の風景 ・春日神社からの風景	
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・春日神社	
	人と人との触れ合いの活動の場	・祭り、相撲(春日神社) ・交流(大野公民館) ・青年部会 ・七福神(各戸及び大野公民館) ・交流、清掃作業(望郷の丘公園) ・清掃(金福寺) ・庚甲様(春日神社裏の大野地区の祠) ・弁天様祭り(弁財天)	
	地域の文化的遺産	・春日神社 ・春日神社裏の大野地区の祠 ・弁財天 ・金福寺	
中原地区	思い入れの景観	・北山小学校からの風景	-
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・中原公園 ・神水川の水辺	
	人と人との触れ合いの活動の場	・遊び(北山小学校) ・三社祭り(春日神社) ・お祭り、参詣、小宴(中原公園) ・18夜の例祭(中原観音) ・お祭り(九郎社) ・薬師さん祭り(薬師様) ・虫供養(正念寺) ・協力(冠婚葬祭)	
	地域の文化的遺産	・春日神社 ・弁財天 ・中原観音 ・九郎社 ・薬師様 ・正念寺	

注)1.( )内は、思い入れの場・物が依存する場所又は構造物を示します。

2. - :影響があることを示します。

3. :影響がない又は小さいことを示します。

表 2.1-6 予測結果(3/3)

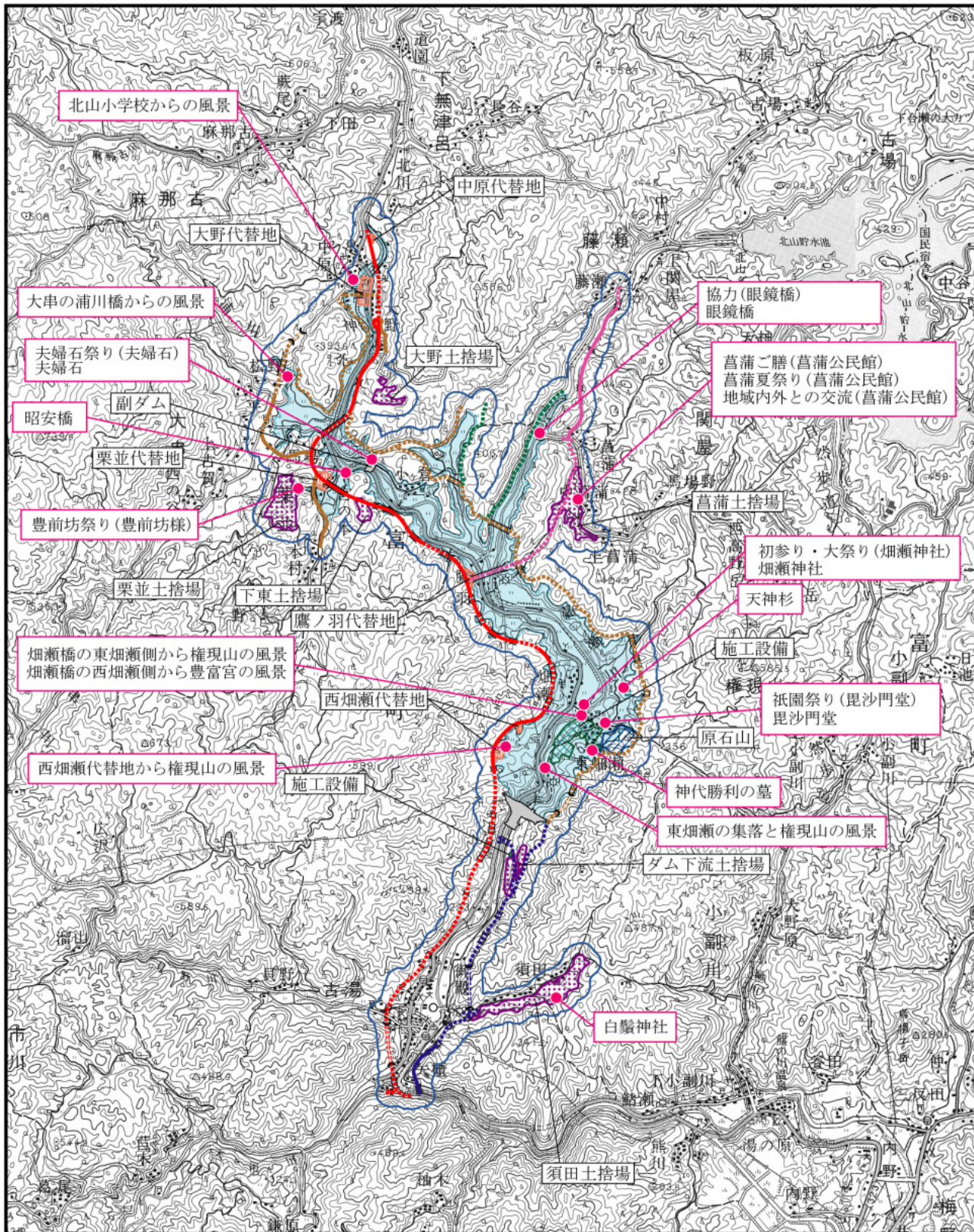
集落	環境質による分類	思い入れの場・物	予測結果
古湯地区	思い入れの景観	・古湯権現山から古湯温泉街の風景	
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場		
	人と人との触れ合いの活動の場	・古湯映画祭、花火大会(古湯温泉) ・町民体育大会 ・鯉供養 ・御供日	
	地域の文化的遺産	・北向神社 ・淀姫神社 ・松森神社	
須田地区	思い入れの景観		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・九州自然歩道	
	人と人との触れ合いの活動の場	・お祭り(天満宮) ・鉦浮立(須田地区の6社の神社) ・お祭り(観音様)	
	地域の文化的遺産	・天満宮 ・須田地区の6社の神社 ・白鬚神社 ・観音様	-
菖蒲地区	思い入れの景観		
	思い入れの人と自然との触れ合いの活動の場	・楠神社前の河川	
	人と人との触れ合いの活動の場	・御供日祭り(楠神社) ・建設時の協力(眼鏡橋) ・お祭り(観音様) ・菖蒲ご膳(菖蒲公民館) ・菖蒲夏祭り(菖蒲公民館) ・地区内外との交流(菖蒲公民館)	- - - -
	地域の文化的遺産	・かっちゃ石 ・楠神社 ・眼鏡橋 ・観音様	-

注)1.( )内は、思い入れの場・物が依存する場所又は構造物を示します。

2. - :影響があることを示します。

3. :影響がない又は小さいことを示します。





凡 例

- |  |          |  |            |  |      |
|--|----------|--|------------|--|------|
|  | ダム堤体     |  | 付替国道       |  | トンネル |
|  | 副ダム      |  | 付替国道(未完成)  |  | 橋    |
|  | 貯水予定区域   |  | 付替県道       |  |      |
|  | 原石山      |  | 付替県道(未完成)  |  |      |
|  | 土捨場      |  | 付替町道       |  |      |
|  | 代替地      |  | 付替町道(未完成)  |  |      |
|  | 施工設備     |  | 付替林道       |  |      |
|  | 対象事業実施区域 |  | 付替林道(未完成)  |  |      |
|  |          |  | 工事用道路      |  |      |
|  |          |  | 工事用道路(未完成) |  |      |



1 : 50,000

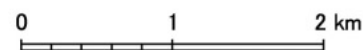


図2.1-4

思い入れの場・物の分布状況



#### 4) 今後の取り組み

##### (1) 思い入れの場・物に対する「思い」の質の検討

予測結果を踏まえ、環境影響がある場合に、今後の取り組みを検討しました。

今後の取り組みを検討していく上で、思い入れの場・物に対してどのような「思い」があるのかということができる限り客観的に把握する必要性がありました。そのため、この「思い」がどのようなもので、また、どの程度のものなのかを把握するために、SD法を適用し、表 2.1-3 及び 7 に示す内容で SD 法アンケート調査を実施しました。

表 2.1-7 SD 法アンケート調査で採用した形容詞対

形容詞対	
趣のある	趣のない
残したい	残さなくてもよい
郷土色のある	郷土色のない
歴史を感じる	歴史を感じない
文化的な	文化的でない
美しい	美しくない
貴重な	貴重ではない
荘厳な	気楽な
見つけにくい	見つけやすい
寂しい	にぎやかな
訪れたい	訪れたくない
自然豊かな	自然豊かでない
古い	古くない
地域とのつながりを感じる	地域とのつながりを感じない

思い入れの場・物に対する「思い」の質を把握するために、SD法アンケート調査結果を2つの方法で検討しました。

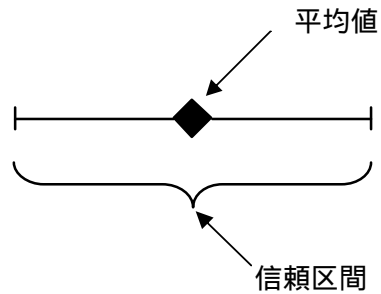
##### (i) 思い入れの場・物の個別検討

SD法アンケート調査では、表 2.1-3 に示すとおり、調査対象者は、富士町役場職員(以下「富士町役場」とします。)、北山中学校生徒(以下「周辺中学生」とします。)、嘉瀬川ダム周辺の住民(以下「周辺住民」とします。))及び佐賀県庁職員(以下「佐賀県庁」とします。))とし、それぞれで約 20 名のアンケート調査対象者を抽出しました。つまり、嘉瀬川ダム周辺の成人の意向を知る母集団として富士町役場を、同じく嘉瀬川ダム周辺の若年層の意向を知る母集団として同町の北山中学校生徒を、また、嘉瀬川ダム周辺以外の一般的傾向を知る母集団として佐賀県庁職員を想定しています。富士町役場を例にあげると、富士町役場を母集団とし、無作為 20 名のサンプル調査を行ったこととなります。

このサンプル調査の結果を、単純に、そのままの状態を活用すると、得られた結果は、あくまでもサンプルの結果となってしまいます。そこで、統計的手法を取り入れ、このサンプル調査の結果から母集団の傾向を導き出すことにしました。

統計的手法として、ここでは、平均値とその信頼区間で表す手法を採用しました。これにより、サンプル調査の結果から母集団の傾向を統計的に把握することができると考えました。

環境影響があると予測された思い入れの場・物に対して、その概要と SD 法アンケート調査結果から得られた「思い」の質を表 2.1-8 に整理しました。表 2.1-8 において、平均値とその信頼区間で表す手法を用いて、SD 法アンケート調査の結果をグラフにより示しています。このグラフの見方を図 2.1-5 に示します。



サンプル調査の平均値は で示しています。  
これに対して、母集団の平均値は、極端に言えば、信頼区間内に含まれることを意味しています。  
これにより、母集団の結果を視覚的に把握できます。

図 2.1-5 グラフの見方

表 2.1-8(1) 影響があると予測される思い入れの場・物


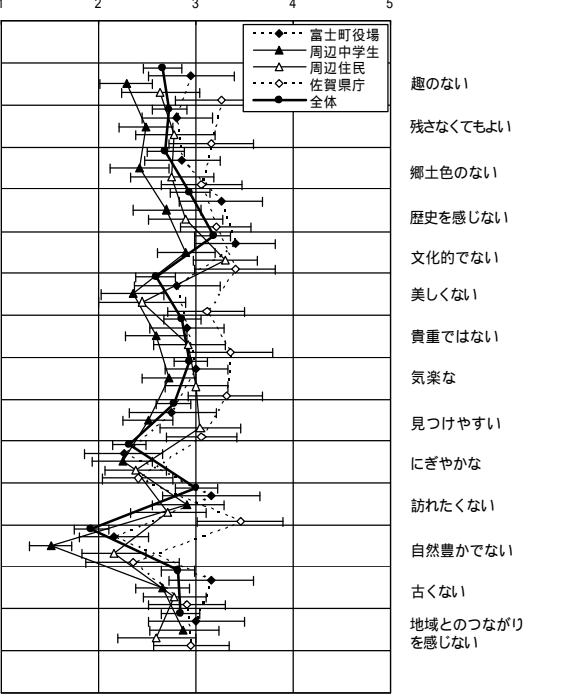
<p>思い入れの場・物</p>	<p>東畑瀬の集落と権現山の風景                  &lt; 場所に係る内容 - 思い入れの景観 &gt;</p>	
<p>影響の内容</p>	<p>見る対象である権現山は改変を受けませんので影響はありませんが、東畑瀬及びこの風景を見る地点である国道 323 号の西畑瀬側は貯水池により消失します。見る地点が消失してしまうため、この風景も消失します。</p>	
<p>概要</p>	<p>区長ヒアリング調査によると、「国道 323 号の西畑瀬側から、権現山を見る眺めが良かった。」という話がありました。                  これは、自分たちが住んでいる東畑瀬集落のわらぶき屋根やトタン屋根の家並み、一般国道 323 号から東畑瀬地区へ通じる畑瀬橋、東畑瀬地区の氏神様を祀った豊富宮とその背後に控える鎮守の森、さらに、権現山といった東畑瀬地区の住民にとって生活の基盤であり、心の拠り所としている物を一度に眺めることができ、自分の故郷、つまり、自分のアイデンティティを思い起こさせる風景であると考えられます。</p>	
<p>SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果</p>	<p>SD 法アンケート調査結果から、全体について、ほとんどの形容詞が 3 前後を示していますが、「寂しい」及び「自然豊かな」は 2 前後を示しており、強く出ていることが読み取れます。                  また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、ほとんどの形容詞に対して、周辺中学生は左寄り、佐賀県庁は右寄りとなっています。特に、周辺中学生の「自然豊かな」が左寄り、つまり、強く出ています。                  一方、周辺住民及び富士町役場については、「寂しい」及び「自然豊かな」は 2 に近いものの、その他は 3 前後を示しており、強くも弱くも出ていないという結果になっています。これは、東畑瀬の住民はほとんどが既に移転しているため、わらぶき屋根やトタン屋根の家並みという自分たちの生活そのものを見つけないことができず、自分たちの生活感や生活の匂いが詰まった風景とは全く別のものであり、自分の心象風景と写真に示す風景を同一のものとして、同一の価値があるものとして認識できなかった、又は、認識しなくなかったとも考えられます。</p>	 <p>趣のある 残したい 郷土色のある 歴史を感じる 文化的な 美しい 貴重な 荘厳な 見つけにくい 寂しい 訪れたい 自然豊かな 古い 地域とのつながりを感じる</p> <p>趣のない 残さなくてもよい 郷土色のない 歴史を感じない 文化的でない 美しいない 貴重ではない 気楽な 見つけやすい にぎやかな 訪れたくない 自然豊かでない 古くない 地域とのつながりを感じない</p>

表 2.1-8(2) 影響があると予測される思い入れの場・物


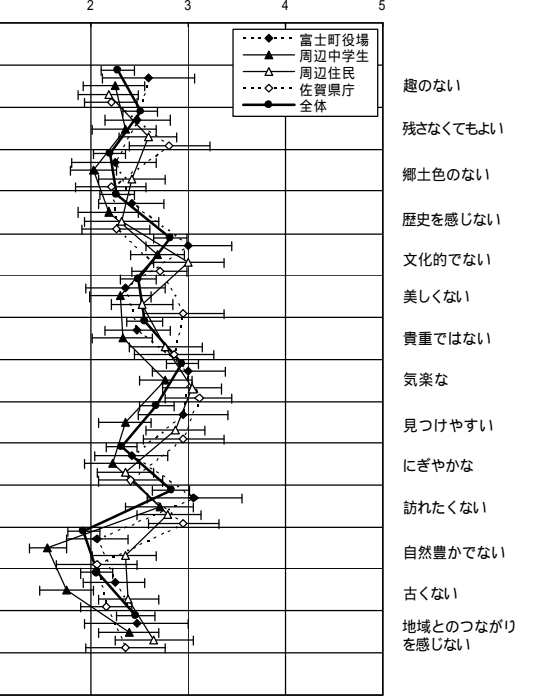
思い入れの場・物	畑瀬橋の東畑瀬側から権現山の風景 <場所に係る内容 - 思い入れの景観>	
影響の内容	見る対象である権現山は改変を受けませんので影響はありませんが、この風景を見る地点である畑瀬橋の東畑瀬側は貯水池により消失します。見る地点が消失してしまうため、この風景も消失します。	
概要	<p>区長ヒアリング調査によると、「印象に残る風景は、橋の付近から豊富宮、その裏の鎮守の森とその背後の権現山を眺めた景色である。」という話がありました。</p> <p>これは、自分たちが住んでいる東畑瀬集落のわらぶき屋根やトタン屋根の家並み、権現山といった東畑瀬地区の住民にとって生活の基盤であり、心の拠り所としている物を間近で眺めることができ、自分の故郷、つまり、自分のアイデンティティを思い起こさせる風景であると考えられます。</p>	
SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果	<p>SD 法アンケート調査結果から、全体について、「郷土色のある」、「歴史を感じる」、「自然豊かな」及び「古い」は2前後を示しており、強く出ていることが読み取れます。</p> <p>また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、ほとんどの形容詞に対して周辺中学生は左寄りとなっており、特に「自然豊かな」及び「古い」に対して特に強く出ています。</p> <p>この風景についても、東畑瀬の住民はほとんどが既に移転しているため、わらぶき屋根やトタン屋根の家並みという自分たちの生活そのものを見つけることができず、自分たちの生活感や生活の匂いが詰まった風景とは全く別のものであり、自分の心象風景と写真に示す風景を同一のものとして、同一の価値があるものとして認識できなかった、又は、認識しなくなかったとも考えられます。</p>	

表 2.1-8(3) 影響があると予測される思い入れの場・物


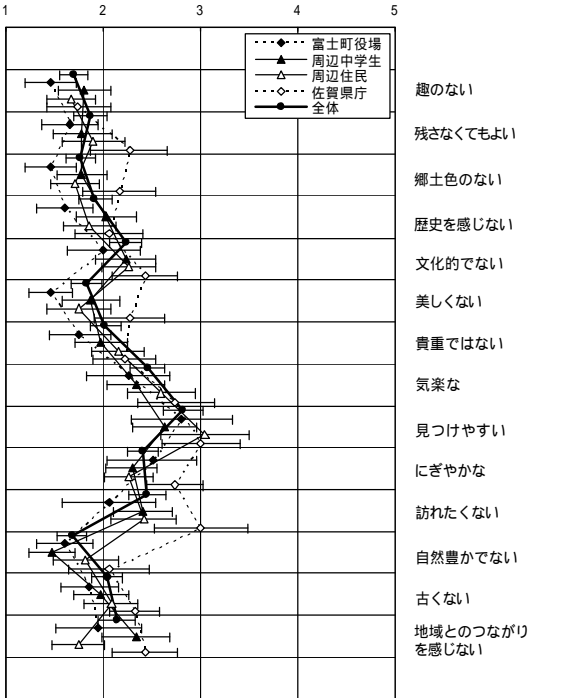
思い入れの場・物	畑瀬橋の西畑瀬側から豊富宮の風景 < 場所に係る内容 - 思い入れの景観 >	
影響の内容	見る対象である豊富宮及びその裏の鎮守の森は貯水池により消失します。見る地点である畑瀬橋の西畑瀬側は貯水池により消失します。見る地点が消失してしまうため、この風景も消失します。 なお、豊富宮は既に移設されています。	
概要	区長ヒアリング調査によると、「印象に残る風景は、橋の付近から豊富宮、その裏の鎮守の森とその背後の権現山を眺めた景色である。」という話がありました。 これは、自分たちが住んでいる東畑瀬集落のわらぶき屋根やトタン屋根の家並み、一般国道 323 号から東畑瀬地区へ通じる畑瀬橋、東畑瀬地区の氏神様を祀った豊富宮とその背後に控える鎮守の森といった東畑瀬地区の住民にとって生活の基盤であり、心の拠り所としている物を間近で眺めることができ、自分の故郷、つまり、自分のアイデンティティを思い起こさせる風景であると考えられます。	
SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果	SD 法アンケート調査結果から、全体について、「見つけにくい」以外は 2 前後を示しており、特に、「趣のある」及び「自然豊かな」が非常に強く出ていることが読み取れます。 また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び差が県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、ほとんどの形容詞に対して佐賀県庁は右寄りとなっており、特に、「訪れたい」が 3 前後を示しています。 この風景と同様の絵画が富士町役場に飾られていることから知名度、注目度は高いと考えられます。 さらに、この風景の中央部には畑瀬橋が写っています。この畑瀬橋は一般国道 323 号からの入口にあたり、東畑瀬の住民にとっては玄関口であると考えられます。	



表 2.1-8(4) 影響があると予測される思い出の場・物


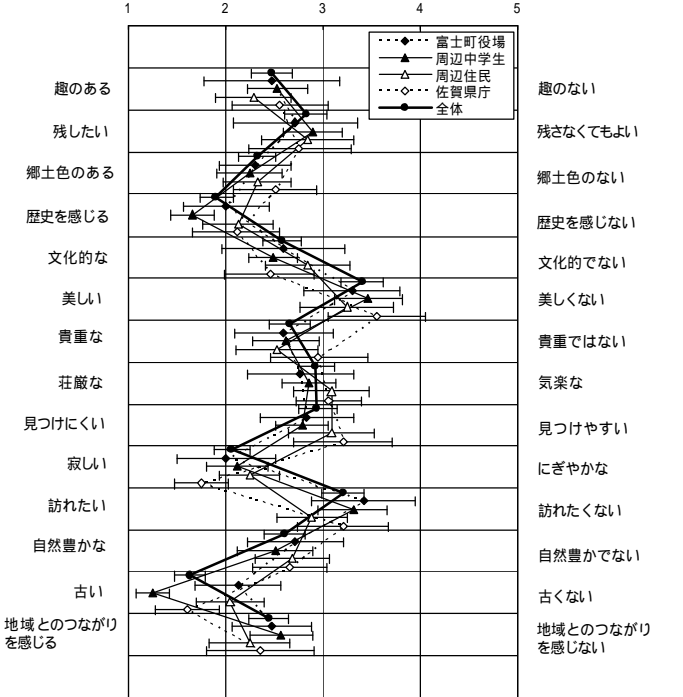
<p>思い出の場・物</p>	<p>祇園まつり(毘沙門堂)                  &lt; 行為に係る内容 - 人と人との触れ合いの活動の場 &gt;                  毘沙門堂                  &lt; 建造物に係る内容 - 地域の文化的遺産 &gt;</p>
<p>影響の内容</p>	<p>祇園祭りは、1972年(昭和47年)から23年間(1995年(平成7年))まで続いた祭りです。この祭りは、東畑瀬地区の住民により、夏祭りとして開催されていましたが、東畑瀬地区の住民の移転により、祇園祭りは行われなくなったと考えられます。毘沙門堂は貯水池により消失します。</p>
<p>概要</p>	<p>区長ヒアリング調査によると、「8月3日に祇園祭り(夏祭り)があった。昭和47年あたりから、23年間続いた。祇園は毘沙門堂にあり、ここが子供たちのこままわし等を行う遊び場だった。」という話がありました。                  毘沙門堂は東畑瀬地区の子供たちの溜まり場のような存在で、交流の拠点であったと考えられます。また、夏祭りである祇園祭りが行われることから、楽しい思い出のつまった場所という印象が強いと考えられます。</p> 
<p>SD法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果</p>	<p>SD法アンケート調査結果から、全体について、「歴史を感じる」、「寂しい」及び「古い」が2前後を示しており、強く出ていることが読み取れます。                  また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、周辺中学生及び佐賀県庁が「古い」に対して強く出ています。                  「古い」に対して、周辺中学生及び佐賀県庁が非常に強く出ていますが、富士町役場や周辺住民のように、日々の生活の中で、小さいころの遊び場や祇園まつりの会場という記憶が毘沙門堂には溶け込んでいるため、ただ単に古いだけではないという感情が隠されているのではないかと考えられます。これを裏付けるものとして、「地域とのつながりを感じる」に対して、若干ですが、周辺中学生及び佐賀県庁よりも富士町役場や周辺住民の方が強く出ています。</p> 

表 2.1-8(5) 影響があると予測される思い入れの場・物


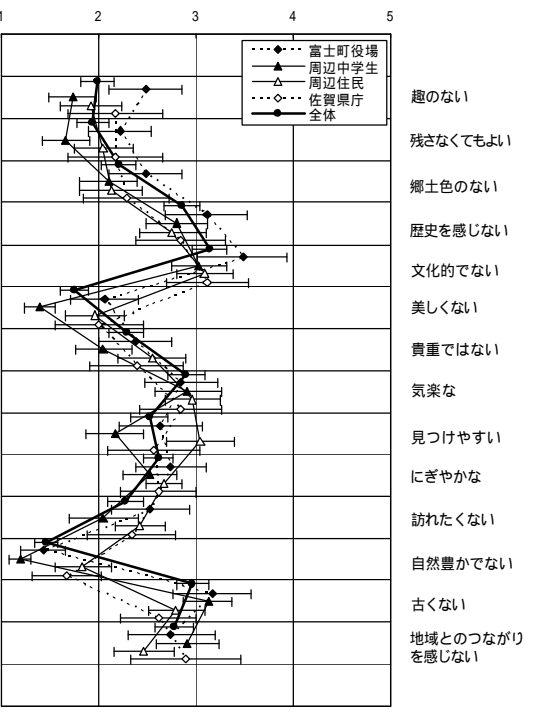
思い入れの場・物	天神杉 < 構造物に係る内容 - 地域の文化的遺産 >	
影響の内容	天神杉は貯水池により消失します。	
概要	<p>区長ヒアリング調査によると、「天神様の所の天神杉は佐賀県の名木・古木として指定されており、樹齢 500 年である。」という話がありました。</p> <p>天神杉は、佐賀県の名木・古木として指定されており、樹齢 500 年です。天神杉の根元には、天神様を祀った祠があり、天神杉が位置している東畑瀬地区の住民の間では、御神木のような存在であったと考えられます。</p>	
SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果	<p>SD 法アンケート調査結果から、全体について、「趣のある」、「残したい」、「美しい」及び「自然豊かな」が 2 以下を示しており、非常に強く出ていることが読み取れます。</p> <p>また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、ほんとの形容詞に対して、周辺中学生が左寄りを示しており、特に、「自然豊かな」が非常に強く出ています。</p>	

表 2.1-8(6) 影響があると予測される思い入れの場・物

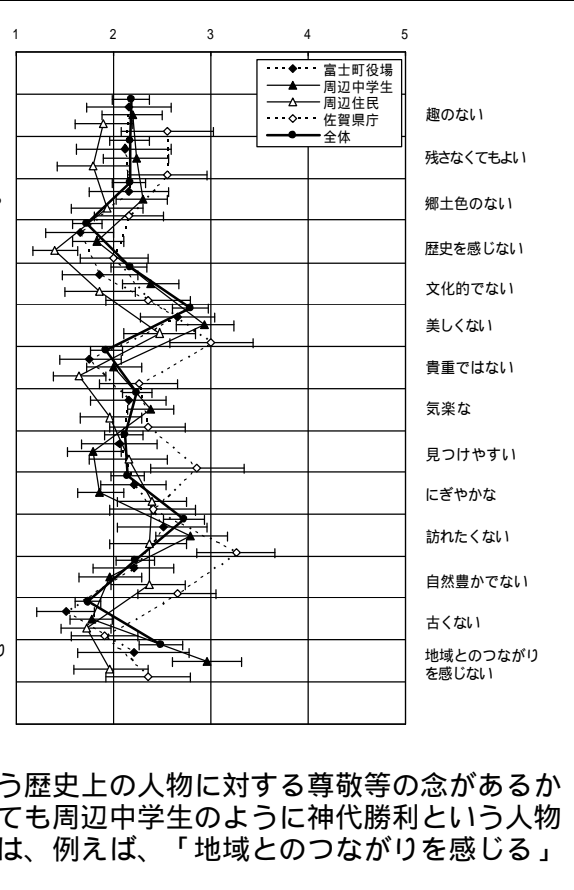
思い入れの場・物	神代勝利の墓 < 構造物に係る内容 - 地域の文化的遺産 >	
影響の内容	神代勝利の墓は貯水池により消失します。 なお、神代勝利の墓は、移設されることが決まっています。	
概要	神代勝利の墓は、富士町指定の重要文化財(建造物)であり、曹洞宗の宗源院の裏山に祀られた戦国武将神代勝利の墓であり、神代勝利の墓の左右には十六基の侍臣の五輪塔が配されています。	
SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果	<p>SD 法アンケート調査結果から、全体として、「美しい」及び「訪れたい」については 3 前後を示していますが、それ以外の形容詞は 2 前後を示しており、強く出ていることが読み取れます。</p> <p>また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、周辺住民の「趣のある」、「残したい」、「郷土色のある」、「歴史を感じる」、「文化的な」、「美しい」、「貴重な」、「荘厳な」、「見つけにくい」、「寂しい」、「訪れたい」、「自然豊かな」、「古い」、「地域とのつながりを感じる」に対して、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁と比較して、強く出ており、戦国時代の地元の英雄とも言うべき神代勝利への「思い」の強さが感じられます。</p> <p>また、この「思い」は、神代勝利という歴史上の人物に対する尊敬等の念があるからこそであり、同様に地元で生活していても周辺中学生のように神代勝利という人物に関する知識が少ないと考えられる場合は、例えば、「地域とのつながりを感じる」が強く出ていないことが分かります。</p>	



表 2.1-8(7) 影響があると予測される思い入れの場・物

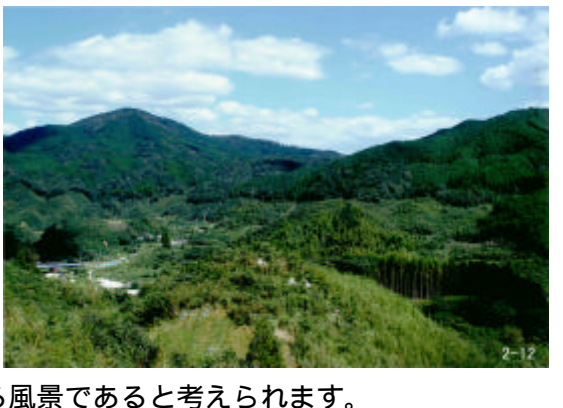
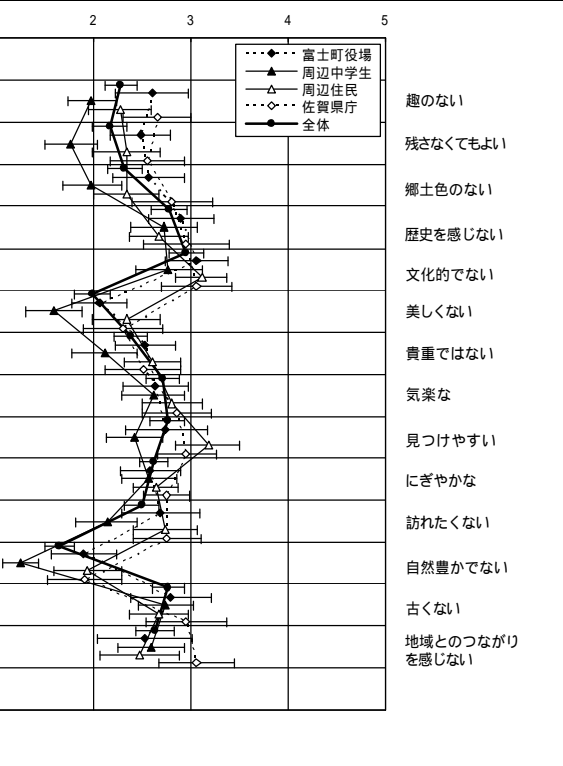

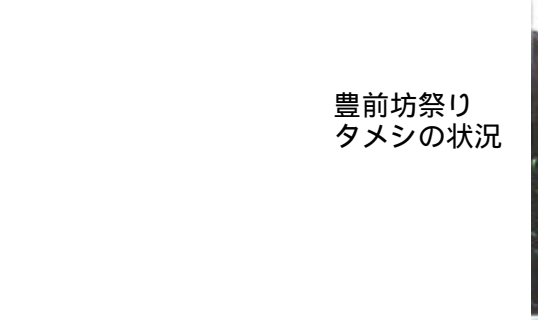

思い入れの場・物	西畑瀬代替地から権現山の風景 <場所に係る内容 - 思い入れの景観>	
影響の内容	西畑瀬代替地及び権現山は改変を受けませんが、この風景については、貯水池が出現しますので、これまで山と樹林により構成されていた風景が、山と樹林と貯水池により構成されることとなりますので、風景が一変します。	
概要	<p>区長ヒアリング調査によると、「西畑瀬代替地に移転して、今まで権現山を下から眺めていたが、今は横から眺めるよう視線が変わった。昔の人は、日の出の時に、東に位置する権現山に向かい拝んでいた。西畑瀬代替地に移転した人も、権現山が見えるところに住みたいという気持ちもあったのだろう。」という話がありました。</p> <p>日の出ずる方向に位置する権現山からの日の出を拝むということが生活の一部になっており、権現山に対する信仰心と日の出が重なり、心の拠り所となる風景であると考えられます。</p>	
SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果	<p>SD 法アンケート調査結果から、全体について、「美しい」及び「自然豊かな」が 2 以下を示し、強く出ていることが読み取れます。</p> <p>また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、周辺中学生が、周辺住民、富士町役場及び佐賀県庁より、ほとんどの形容詞に対して、非常に強く出ています。特に、「残したい」、「美しい」及び「自然豊かな」に対しては突出しています。</p>	

表 2.1-8(8) 影響があると予測される思い入れの場・物

<p>思い入れの場・物</p>	<p>初参り・大祭り(畑瀬神社) &lt; 行為に係る内容 - 人と人との触れ合いの活動の場 &gt; 畑瀬神社 &lt; 構造物に係る内容 - 地域の文化的遺産 &gt;</p>	
<p>影響の内容</p>	<p>初参り・大祭りは、西畑瀬地区の住民により開催されていまして、西畑瀬地区の住民の移転により、行われなくなったと考えられます。 畑瀬神社は貯水池により消失します。</p>	
<p>概要</p>	<p>区長ヒアリング調査によると、「かつては白鬚神社と呼ばれていた。西畑瀬地区の人は、移転前は、初参りは畑瀬神社に行っていた。12月15日に近い土日に大祭りが開催されていた。平成16年からは湯の里代替地で行われるであろう。西畑瀬代替地に氏子が25戸残る。」という話がありました。 畑瀬神社はお祭りの会場であり、境内には御神木と位置付けられる古木・巨木もあります。西畑瀬地区のコミュニティが形成されていく段階で、人々の拠り所、守り神のような存在であると考えられます。</p>	
<p>SD法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果</p>	<p>SD法アンケート調査結果から、全体について、「訪れたい」が3前後を示していますが、その他の形容詞は2前後を示しており、強く出ていることが読み取れます。 また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、「自然豊かな」について、周辺中学生が、周辺住民、富士町役場及び佐賀県庁よりも非常に強く出ており、中学生である子供と周辺住民等の大人で、「自然豊かな」、つまり、「自然」に対する感覚が異なることが読み取れます。</p>	

表 2.1-8(9) 影響があると予測される思い入れの場・物

思い入れの場・物	<p>豊前坊祭り(豊前坊様)                  &lt;行為に係る内容 - 人と人との触れ合いの活動の場&gt;</p>
影響の内容	<p>豊前坊祭りは栗並地区の馬場古集落の住民により開催されていきましたので、栗並地区の馬場古集落の住民の移転により、行われなくなったと考えられます。</p>
概要	<p>なお、豊前坊祭りは豊前坊様で開催されますが、豊前坊様は改変を受けません。</p> <p>区長ヒアリング結果によると、「馬場古にはもともと 13、14 戸あった。現在は、ほとんど移転してしまったため、豊前坊祭りは今は行っていない。集落の人はばらばらに移転していった。豊前坊祭りではタメシ(酒占い)を行った。」という話がありました。</p> <p>豊前坊祭りは、豊前坊様で毎年 9 月 14 日に行われていました。豊前坊様は稲の神様であり、山伏姿をした男の神様ではないかと言われており、石でできた屋敷型の祠で祭祀されています。豊前坊様の傍らには小さな甕が埋めてあり、この甕に日本酒を 1 年間入れたままにしておき、1 年に 1 回、豊前坊祭りの時に、甕を開けて、稲の豊凶を占っていました。この占いはタメシと呼ばれており、日本酒に虫がわいていたら、虫が多くなるので不作になると言われていました。</p> <p>馬場古の住民にとって、豊前坊様は祈願の場所であり、豊前坊祭りで豊作を願って占う場所でもあります。馬場古の住民にとっての生活基盤である農業と密接に関係したものであると考えられます。</p> <div data-bbox="347 837 887 1211">  <p>豊前坊祭りの状況</p> </div> <div data-bbox="347 1223 887 1541">  <p>豊前坊祭り タメシの状況</p> </div> <div data-bbox="879 1223 1410 1541">  <p>豊前坊祭り 釣り籤で来年の当番を選定している状況</p> </div>

注)豊前坊祭りは、人と人との触れ合いの活動の場であり、物として実体のないものであることから、写真を媒体にした SD 法アンケート調査を実施することができませんので、「思い」の質を把握することができません。そこで、思い入れの場・物の影響の内容及び概要のみを示します。

資料:嘉瀬川ダム建設に伴う学術調査報告書(嘉瀬川ダム建設に伴う学術調査委員会 平成 12 年 3 月)をもとに作成



表 2.1-8(10) 影響があると予測される思い入れの場・物


<p>思い入れの場・物</p>	<p>夫婦石祭り(夫婦石) &lt; 行為に係る内容 - 人と人との触れ合いの活動の場 &gt;</p>	
	<p>夫婦石 &lt; 構造物に係る内容 - 地域の文化的遺産 &gt;</p>	
<p>影響の内容</p>	<p>夫婦石祭りは、子安神社で開催される風祭りと同時期に、夫婦石にて開催されます。夫婦石は貯水池により消失します。祭りにおける開催場所と祀る対象が消失します。 夫婦石は貯水池により消失します。</p>	
<p>概要</p>	<p>区長ヒアリング調査によると、「夫婦石まつりが風まつりと同じ9月に開催される。」という話がありました。 夫婦石祭りは、栗並地区の子安神社で開催される風祭りと同時期に、夫婦石で開催されますが、中心となる風祭りの会場は子安神社です。風祭りは、台風による作物の被害がないことを願って行われます。栗並地区の住民にとっては、祈願の場所であり、豊作を願う場所であり、生活の基盤である農業と密接に関係したものであると考えられます。</p>	
<p>SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果</p>	<p>SD 法アンケート調査結果から、全体について、「見つけにくい」及び「寂しい」は3前後を示していますが、その他の形容詞は2前後を示しており、強く出ていることが読み取れます。 また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、周辺中学生が、周辺住民、富士町役場及び佐賀県庁と異なる傾向を示しています。 特に、周辺中学生の「趣のある」、「残したい」、「郷土色のある」、「歴史を感じる」、「貴重な」、「自然豊かな」及び「地域とのつながりを感じる」に対する「思い」が非常に強く出ており、この夫婦石が周辺中学生にとって、日常の遊び場である等の何かしらの要因が考えられます。</p>	
	<p>また、この夫婦石では、夫婦石祭りが現在も行われているため、周辺中学生にとって、「地域とのつながりを感じる」場・物となっているとも考えられます。</p>	

表 2.1-8(11) 影響があると予測される思い入れの場・物


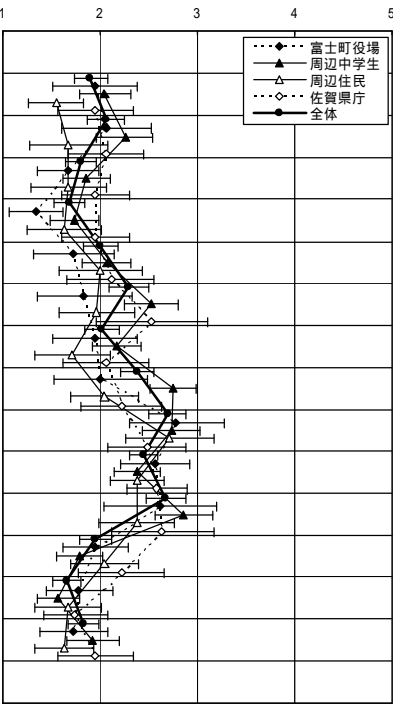
<p>思い入れの場・物</p>	<p>昭安橋                  &lt; 構造物に係る内容 - 地域の文化的遺産 &gt;</p>	
<p>影響の内容</p>	<p>昭安橋は貯水池により消失します。                  なお、昭安橋と一体と位置付けられている子安神社の神殿は既に移設されていますが、古木は移設されず、消失してしまいます。</p>	
<p>概要</p>	<p>区長ヒアリング調査によると、「集落の中では子安神社がもっとも印象的なもので、石垣、石橋(昭安橋)、古木、神殿がセットになっている。」という話がありました。                  子安神社への玄関口という位置付けで、子安神社、石垣、昭安橋、古木が一体となり、さらに、子安神社を囲むように鎮守の森が広がっており、栗並地区の住民の信仰心が強く表れる場所であると考えられます。</p>	
<p>SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果</p>	<p>SD 法アンケート調査結果から、全体として、「見つけにくい」及び「訪れたい」は 3 前後を示していますが、その他の形容詞は 2 前後を示しており、強く出ていることが読み取れます。                  また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、特に、「趣のある」、「残したい」、「趣のある」、「歴史を感じる」、「文化的な」、「美しい」、「貴重な」、「荘厳な」、「見つけにくい」、「寂しい」、「訪れたい」、「自然豊かな」、「古い」、「地域とのつながりを感じる」</p>	

表 2.1-8(12) 影響があると予測される思い入れの場・物


思い入れの場・物	大串の浦川橋からの風景 < 場所に係る内容 - 思い入れの景観 >	
影響の内容	見る対象である山は改変を受けませんが、見る地点である浦川橋は貯水池により消失します。見る地点が消失してしまうため、この風景も消失します。	
概要	<p>小学生アンケート調査によると、「大串のうらかわばしから山をながめていると山の形がなんかおもしろい形に見える。」という回答がありました。</p> <p>浦川橋から、毎日のように同じ山を見ている中で、同じ山ではありますが、その時の気象条件等により、山の形の見え方が変化し、面白い形に見えると考えられます。</p>	
SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果	<p>SD 法アンケート調査結果から、全体として、「自然豊かな」以外は 3 前後を示していますが、「自然豊かな」は 2 前後を示しており、強く出ていることが読み取れます。</p> <p>また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、周辺中学生がすべての形容詞で左寄りとなっており、特に、「自然豊かな」に対しては、2 以下を示すように非常に強く出しており、この風景が、小学生アンケート調査で抽出されたものであるという結果を考慮すると、小学生や中学生という子供に対しては、通学路上に位置し、毎日のように目にしているため、非常に「思い」の強いものであると考えられます。</p>	

表 2.1-8(13) 影響があると予測される思い入れの場・物


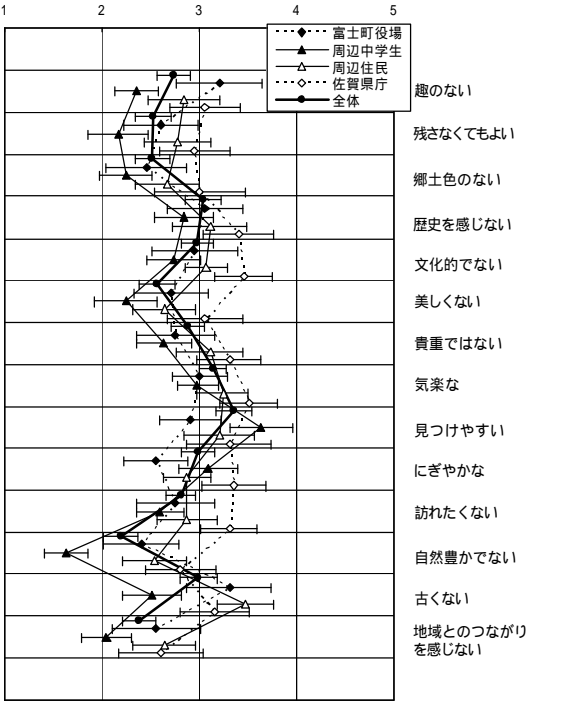
思い入れの場・物	北山小学校からの風景 < 場所に係る内容 - 思い入れの景観 >	
影響の内容	見る対象となる山々は改変を受けませんので影響はありません。見る地点である北山小学校は貯水池により消失します。見る地点が消失しますので、この風景も消失します。	
概要	<p>小学生アンケート調査によると、「大きな森をながめる(景色などがきれいだから。ながめるとおちつくから)。」という話がありました。</p> <p>小学校から見える、なだらかな山の形が心を落ち着かせてくれると考えられます。</p> <p>なお、小学生アンケート調査では、北山小学校の児童を対象とし、周辺中学生は北山中学校の生徒を対象としています。北山小学校と北山中学校は隣接しており、教室の窓から見える風景はほぼ同様であると言えます。</p>	
SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果	<p>SD 法アンケート調査結果から、全体として、「自然豊かな」及び「地域とのつながりを感じる」は 2 前後を示し、強く出ていますが、それ以外の形容詞は 3 前後を示していることが読み取れます。</p> <p>また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、周辺中学生が、周辺住民、富士町役場及び佐賀県庁と異なる傾向を示しています。特に、「自然豊かな」に対しては特に異なった傾向を示しており、周辺中学生にとっては、学校の教室の窓から、毎日のように見える風景、又は、見ている風景であり、授業中にホッと一息つくとき等に見る風景であると考えられ、周辺中学生の「思い」が突出していると読み取れます。</p> <p>このことは、この風景が、小学生アンケート調査で抽出されたものであることにも起因していると考えられます。</p>	



表 2.1-8(14) 影響があると予測される思い入れの場・物


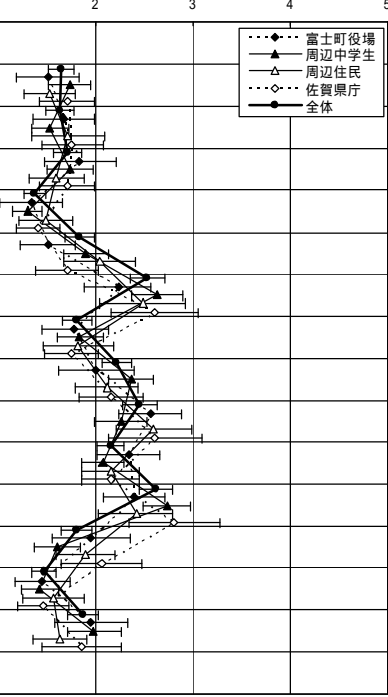
思い入れの場・物	白鬚神社 < 構造物に係る内容 - 地域の文化的遺産 >	
影響の内容	白鬚神社は須田土捨場により改変を受けます。 なお、白鬚神社は移設されることは決まっています。	
概要	<p>区長ヒアリング調査によると、「須田地区は明治 6 年(1873 年)5 月から 100 日間雨が降らず、田植えができない田やせっかく植えた稲も枯死寸前、このままでは収穫ができないという状態になった。地区で協議を重ねた結果、神の力におすがりし、雨を降らせるしかない、という結論に達し、当時、南山村市川で行われていた「市川天衝舞浮立」を習って奉納したことがはじまりである。これを「鉦浮立」という。その後、現在まで約 130 年続いており、昔は 10 月 11 日に、現在は 10 月第 3 週土曜日に行っている。地区内の氏神様、すなわち、権現神社、白鬚神社、天満宮、九郎神社、春日神社に奉納している。」という話がありました。</p> <p>豊作を願うために行っている鉦浮立には欠かすことのできない神社であり、天候を主とした自然への畏敬の念、神頼みという意義があるものであると考えられます。</p>	
SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果	<p>SD 法アンケート調査結果から、全体として、ほとんどの形容詞が 2 前後を示し、特に、「歴史を感じる」及び「ふるい」は 1 寄りを示しており、強く出ていることが読み取れます。</p> <p>また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いは、特に読み取れません。</p> <p>この白鬚神社においては、約 130 年前から鉦浮立という行事が行われているため、特に、「郷土色のある」、「歴史を感じる」、「古い」及び「地域とのつながりを感じる」が強く出ていると考えられます。</p>	



表 2.1-8(15) 影響があると予測される思い入れの場・物


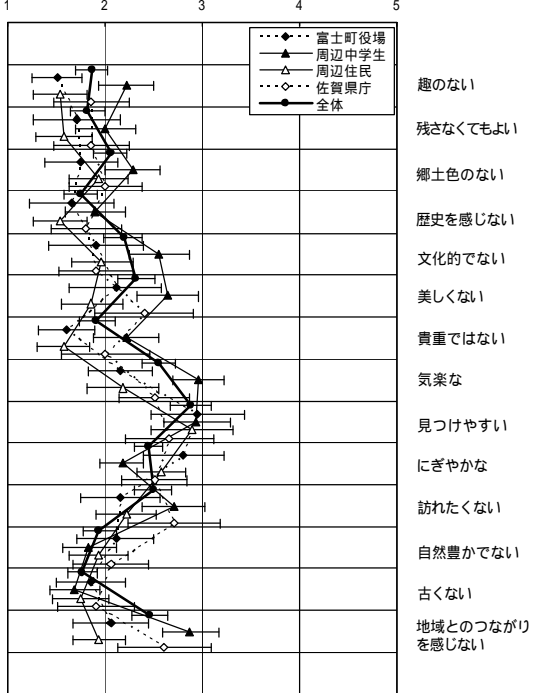
<p>思い入れの場・物</p>	<p>建設時の協力(眼鏡橋) &lt; 行為に係る内容 - 人と人との触れ合いの活動の場 &gt;</p>	
<p>影響の内容</p>	<p>眼鏡橋 &lt; 構造物に係る内容 - 地域の文化的遺産 &gt; 眼鏡橋を建設したのは大正時代のことであるが、度重なる洪水により流されてしまう木橋に代わるものとして石製の眼鏡橋を造ることにしたという経緯があり、菖蒲地区の住民がお金を出し合い協力しあった結果であり、眼鏡橋を見るたびに先祖の苦勞を思い返すような、思い入れの強いものであると考えられます。 眼鏡橋の一部が貯水池により改変を受けますので、眼鏡橋が原型を留めなくなる可能性があります。</p>	
<p>概要</p>	<p>区長ヒアリング調査によると、「菖蒲地区で区域の人々の思いが一番ある場所は、眼鏡橋である。部落への玄関口にも位置する。かつて、眼鏡橋を作ったところは、部落の人はかなりの寄付を行っていたであろうし、橋の建設にかなりの協力を行っていた。今回のダム建設により、眼鏡橋の橋のたもと辺りまで水につかってしまう。崩れないかどうか心配である。」という話がありました。 眼鏡橋は、菖蒲地区の玄関口に位置しており、菖蒲地区の住民にとって最も思い入れのあるものです。眼鏡橋が現在のような石橋になったのは、大正5年のことです。それまでは、木橋であり、洪水の度に流出してしまうことに菖蒲地区の住民は困り果てていました。そのため、菖蒲地区の住民内で話し合いを重ね、永久橋として現在の石橋の架設を決定したという経緯があります。また、この架設には、菖蒲地区の住民がお金を出し合い、また、橋の対岸となる大野地区に対して架設の許可を求め、接待したという経緯もあります。先祖達の苦勞の結晶を思い起こさせるものであると考えられます。</p>	
<p>SD 法アンケート調査、区長ヒアリング調査及び小学生アンケート調査の結果</p>	<p>SD 法アンケート調査結果から、全体として、「見つけにくい」は3前後を示していますが、その他の形容詞は2前後を示しており、強く出ていることが読み取れます。 また、周辺住民、富士町役場、周辺中学生及び佐賀県庁の調査対象者間の相対的な違いを見ると、「趣のある」、「美しい」、「荘厳な」及び「地域とのつながりを感じる」については、周辺住民及び富士町役場が周辺中学生と比べてより強く出しており、眼鏡橋と地域の関係を熟知しているからこそ現れた結果だと考えられます。逆に、周辺中学生にとっては、眼鏡橋と地域の関係への認識が弱いため、「歴史を感じる」や「古い」に対しては強く出ていますが、「趣のある」や「美しい」、「文化的な」、そして「荘厳な」のように、眼鏡橋の経緯や背景から連想される「思い」が含まれ、心理的側面が色濃く反映されている形容詞に対しては、強く出ていないことが読み取れます。</p>	

表 2.1-8(16) 影響があると予測される思い入れの場・物

<p>思い入れの場・物</p>	<p>菖蒲ご膳(菖蒲公民館) &lt;行為に係る内容 - 人と人の触れ合いの活動の場&gt;</p> <p>菖蒲夏祭り(菖蒲公民館) &lt;行為に係る内容 - 人と人の触れ合いの活動の場&gt;</p> <p>地区内外との交流(菖蒲公民館) &lt;行為に係る内容 - 人と人の触れ合いの活動の場&gt;</p>
<p>影響の内容</p>	<p>菖蒲ご膳の開催場所は公民館*です。公民館は菖蒲土捨場により改変を受けますので、現在のままの公民館で菖蒲御膳を開催することは困難になります。</p> <p>菖蒲夏祭りは公民館で開催されます。公民館は菖蒲土捨場により改変を受けますので、現在のままの公民館で菖蒲祭りを開催することは困難になります。</p> <p>地区内外の交流の拠点となる公民館は菖蒲土捨場により改変を受けますので、現在のままの公民館を地区内外の交流の拠点とするのは困難にあります。</p>
<p>概要</p>	<p>区長ヒアリング調査によると、「地区内の協力や地区外との交流で一番大きな行事は菖蒲ご膳である。今回のダム関係において、毎回開催場所として利用している公民館の移設の問題等があるが、今後も続けていきたいと考えている。8月には、公民館の外で菖蒲夏祭りが行われる。盆踊りや焼肉、山菜料理等で楽しむ。菖蒲御膳は、リピーターの方も多く、夏祭りも菖蒲御前参加者の方も招待している。地区外の方も呼んでいる。地区内地区外との交流は、公民館を中心として、そのつながりから、広がっていている。」という話がありました。</p> <p>菖蒲ご膳は、山野草摘み草料理愛好会が主催している季節の郷土料理を提供する会費制の昼食会で、平成7年1月に始まり、毎月第2日曜日に開催されています。菖蒲ご膳は、菖蒲地区で採れる旬のものを食材としており、自然の恵み、時の流れ、季節の流れを感じさせるものです。佐賀県外からの参加や貸切バスによる参加も多く、常連客と合わせると、毎回100人程度の参加者で非常に賑わっています。</p> <p>菖蒲ご膳が契機となり、菖蒲地区内での交流、菖蒲地区と古湯温泉街を抱える古湯地区等の菖蒲地区外との交流が盛んとなり、街づくりへとつながっています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="347 1093 882 1491">  </div> <div data-bbox="938 1151 1142 1187"> <p>菖蒲ご膳の状況</p> </div> <div data-bbox="890 1256 1425 1657">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;">  </div>

注)1. 菖蒲ご膳、菖蒲夏祭り及び地区内外との交流は、人と人の触れ合いの活動の場であり、ものとして実体的のないものであることから、写真を媒体にしたSD法アンケート調査を実施することができませんので、「思い」の質を把握することもできません。そこで、思い入れの場・物の影響の内容及び概要のみを示します。

2. \*:菖蒲公民館を示します。

(ii) 思い入れの場・物の相対的な検討

ここでは、影響があると予測された思い入れの場・物のうち、SD 法アンケート調査を実施したのについて、各々の評価を相互に比較し、それぞれの思い入れの場・物の相対的な位置付け又は意味合いを把握する検討を行いました。図 2.1-6 にすべての思い入れの場・物の SD 法アンケート調査結果を示します。なお、図 2.1-6 には、全調査対象者の平均値を示しました。

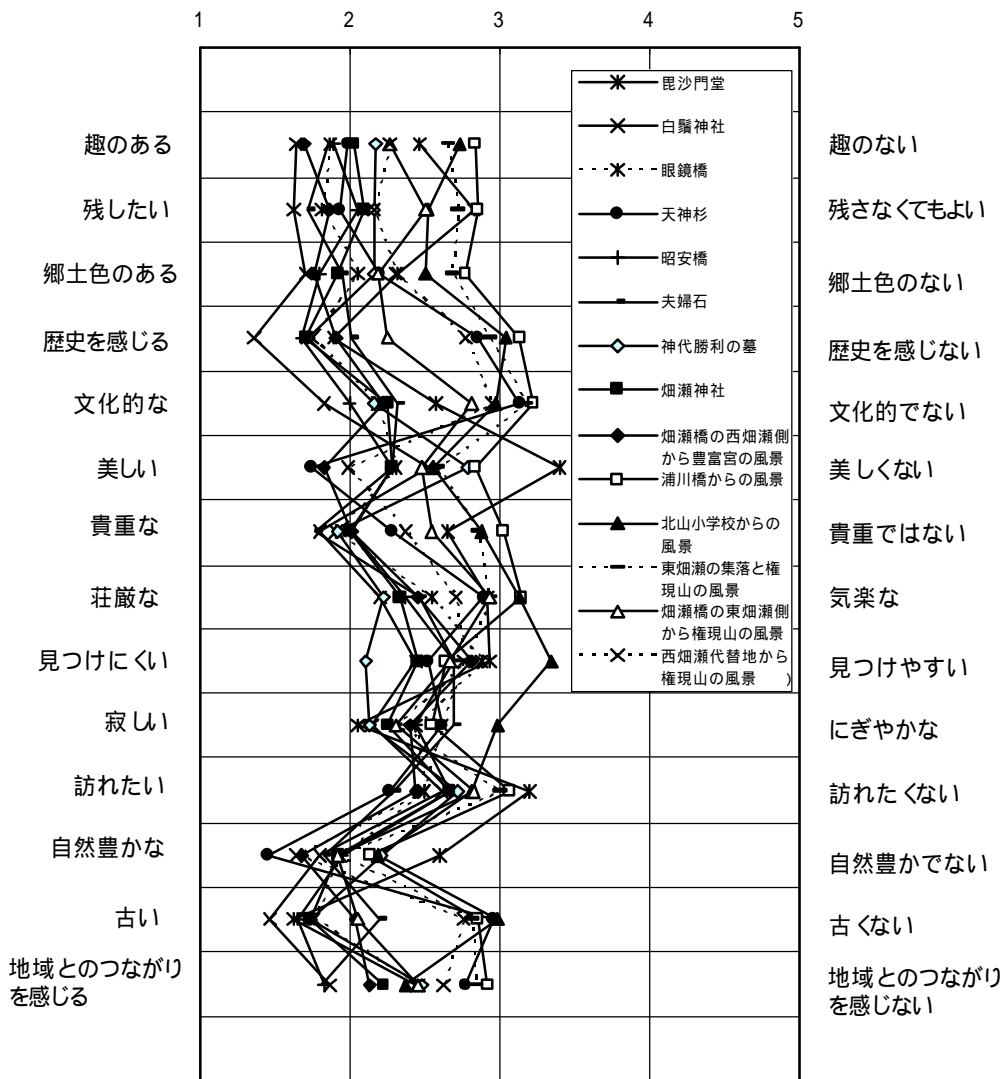


図 2.1-6 各思い入れの場・物の SD 法アンケート調査結果

思い入れの場・物の SD 法アンケート調査の各結果をそのまま重ね合わせたものが、図 2.1-6 です。ここから SD 法アンケート調査結果の相対的特徴を読み取るために、グループ化を行いました。グループ化の一方法として、それぞれの思い入れの場・物を、思い入れの景観、地域の文化的遺産といった環境質によりグループ化しました。

地域の文化的遺産を A グループ、思い入れの景観を B グループとし、それぞれの SD 法アンケート調査結果を図 2.1-7 に示します。

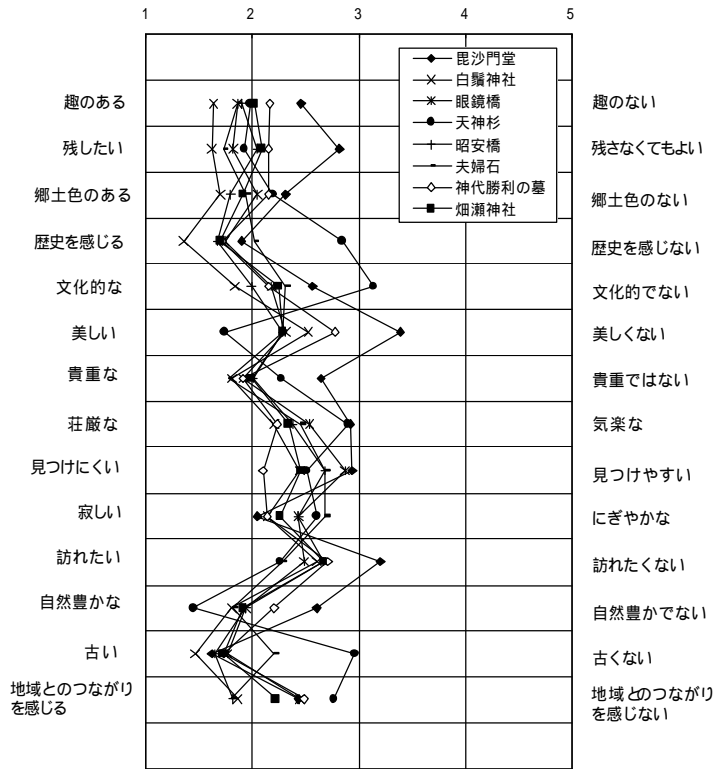


図 2.1-7(1) Aグループの思い出の場・物のSD法アンケート調査結果

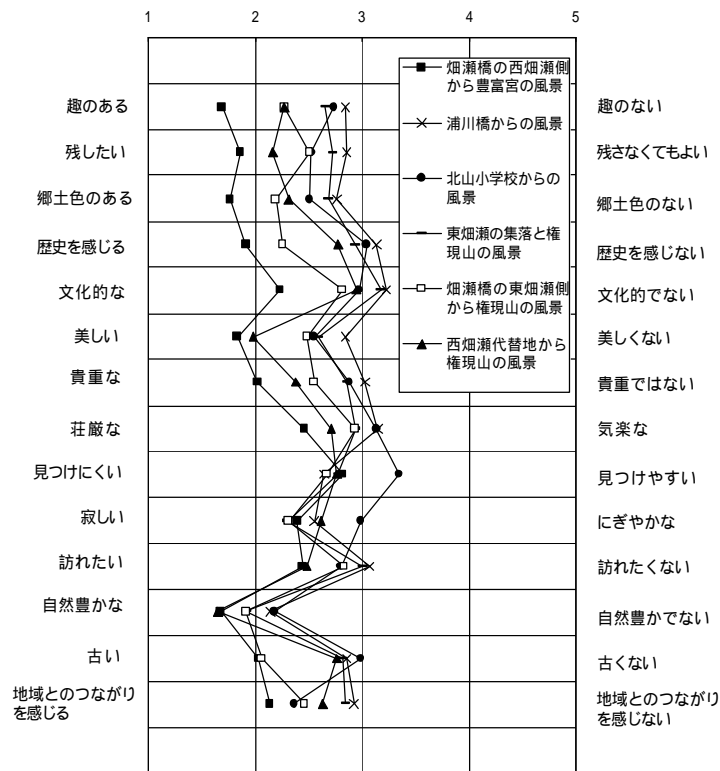


図 2.1-7(2) Bグループの思い出の場・物のSD法アンケート調査結果

図 2.1-7(1)に示す A グループについては、毘沙門堂が「残したい」、「美しい」、「貴重な」、「荘厳な」、「訪れたい」及び「自然豊かな」において、また、天神杉が「歴史を感じる」、「文化的な」、「美しい」、「荘厳な」、「自然豊かな」及び「古い」において、この他の思い入れの場・物と異なる傾向を示しています。このうち、天神杉について、対象とするものは、杉の巨木、つまり、自然物であり、表 2.1-8(5)に示した写真から、思い入れの景観ととらえることも可能であると考え、B グループとして扱いました。天神杉のグループ移動に伴いグループ名を A' 及び B' と変更し、図 2.1-8 に示します。

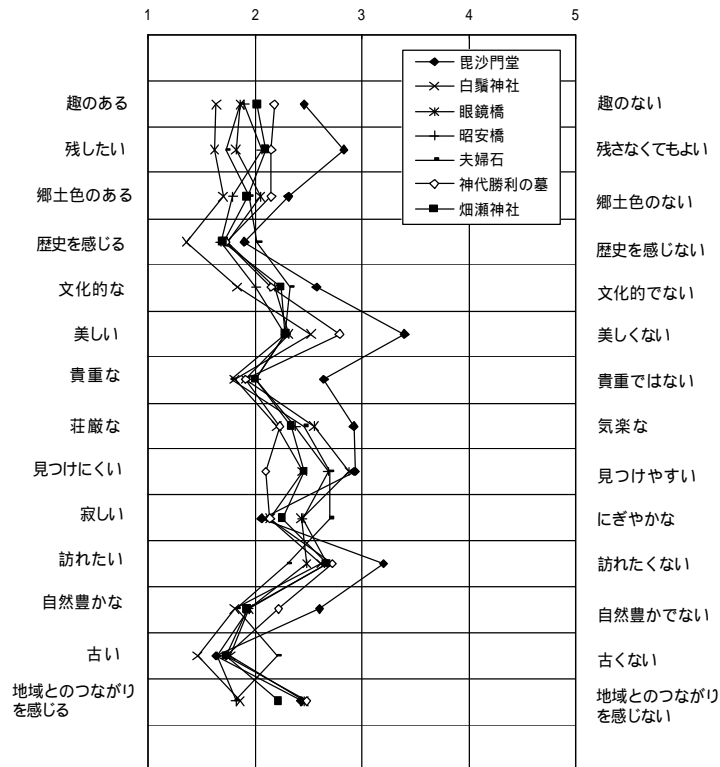


図 2.1-8(1) A'グループの思い入れの場・物の SD 法アンケート調査結果

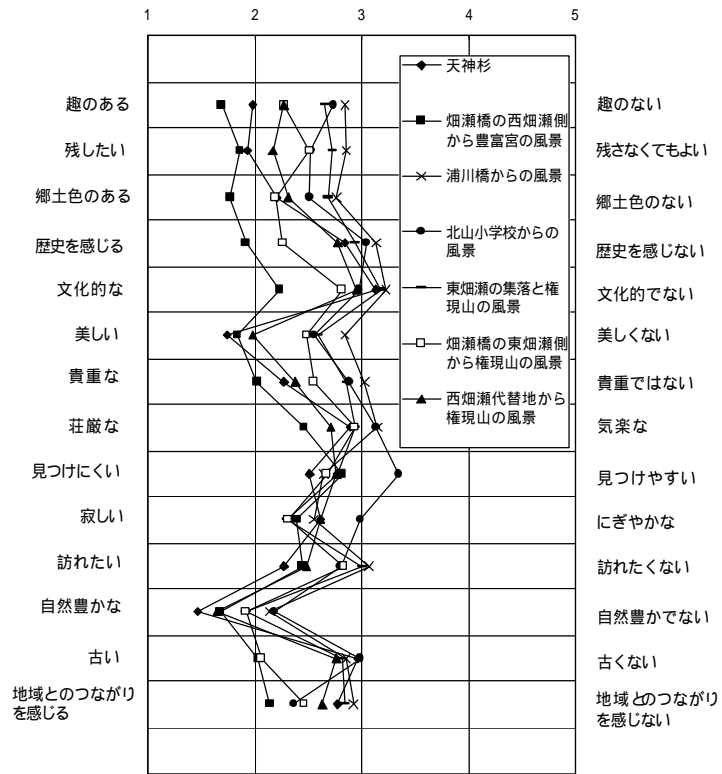








図 2.1-8(2) B'グループの思い出の場・物の SD 法アンケート調査結果



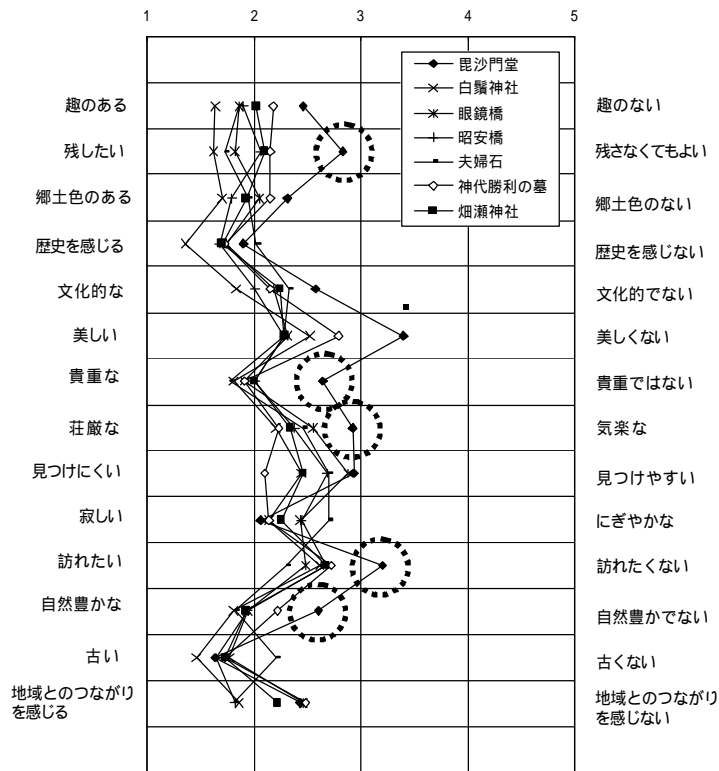
(a) A'グループ

A'グループには、表 2.1-9 に示すとおり、毘沙門堂、白鬚神社、眼鏡橋、昭安橋、夫婦石、神代勝利の墓及び畑瀬神社があります。

表 2.1-9 A'グループの思い出の場・物

グループ名	A'	
思い出の場・物		
	毘沙門堂	白鬚神社
		
	眼鏡橋	昭安橋
		
	夫婦石	神代勝利の墓
		
畑瀬神社		

A'グループの思い出の場・物の SD 法アンケート調査結果は、図 2.1-9 に示すとおりです。7 つの思い出の場・物とも、全体としては同じような傾向を示していますが、毘沙門堂については、図 2.1-9 において点線で囲ったように、「残したい」、「美しい」、「貴重な」、「荘厳な」、「訪れたい」及び「自然豊かな」が 3 前後に分布しています。毘沙門堂以外では 2 前後に分布していることと比較すると、毘沙門堂では、これらの形容詞に対して、弱く出ていることが読み取れます。



注) 点線：異なる傾向を示している箇所を示します。

図 2.1-9 A'グループの思い出の場・物の SD 法アンケート調査結果

毘沙門堂だけが他とは異なる傾向を示す理由を検討するため、A'グループの思い出の場・物を構成しているものに注目して考え、表 2.1-10 に結果を整理しました。

表 2.1-10 A'グループの思い出の場・物を構成しているもの

思い出の場・物	構成しているもの		
	種類	素材	周囲の状況
毘沙門堂	神社仏閣	木	家屋、舗装道
白鬚神社	神社仏閣	石	樹木
眼鏡橋	橋梁	石、コンクリート	川、樹木
昭安橋	橋梁	石	川、樹木
夫婦石	巨石	石	川、樹木
神代勝利の墓	墓	石	樹木
畑瀬神社	神社仏閣	石、木	樹木



表 2.1-10 から、毘沙門堂だけが木が主であり、周囲を家屋や舗装道、つまり、人工構造物に囲まれています。一方、毘沙門堂以外は、石が主であり、周囲を川や樹木、つまり、自然物に囲まれています。

細かく見ると、毘沙門堂は、周りを家屋や舗装道で囲まれているため、背後の山や樹木から分離され、毘沙門堂がポツンと浮いてしまい、木造建築物という点が強調されたような状態になっています。そのため、SD 法アンケート調査結果では、古い木造建築物を表現する形容詞として「古い」は強く出ていますが、「美しい」や「自然豊かな」は強く出ていません。








毘沙門堂以外については、周りを川や樹木で囲まれ、川や樹木と連続的な位置付けで、石造の構造物が存在しています。さらに、石造構造物の苔むした状態が、自然との一体感を強調していると考えます。そのため、石造構造物が自然と一体となっており、自然との調和、自然との一体といった観点から、「趣のある」、「残したい」、「美しい」、「貴重な」及び「自然豊かな」が強く出ていると考えられます。

これらの違いが、毘沙門堂と毘沙門堂以外で、SD 法アンケート調査結果の傾向の違いに現れていると考えられます。

(b) B'グループ

B'グループには、表 2.1-11 に示すとおり、天神杉、畑瀬橋の西畑瀬側から豊富宮の風景、大串の浦川橋からの風景、北山小学校からの風景、東畑瀬の集落と権現山の風景、畑瀬橋の東畑瀬側から権現山の風景及び西畑瀬代替地から権現山の風景があります。

表 2.1-11 B'グループの思い出の場・物

グループ名	B'	
思い出の場・物		
	天神杉	畑瀬橋の西畑瀬側から豊富宮の風景
		
	大串の浦川橋からの風景	北山小学校からの風景
		
	東畑瀬の集落と権現山の風景	畑瀬橋の東畑瀬側から権現山の風景
		
西畑瀬代替地から権現山の風景		

B'グループの思い出の場・物の SD 法アンケート調査結果は、図 2.1-10 に示すとおりで―

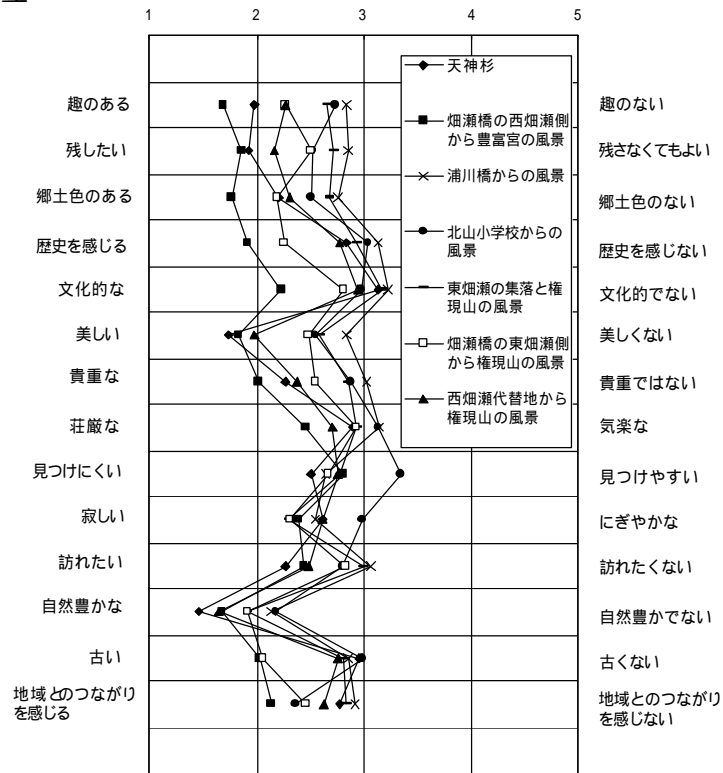


図 2.1-10 B'グループの思い出の場・物の SD 法アンケート調査結果

図 2.1-10 に示す各 SD 法アンケート調査結果の形状から同様の形状を示していると判断できるものに注目しました。その結果、調査結果の形状から、B'グループを 3 つに細分類することができ、それぞれ、グループ、グループ及びグループとしました。各グループを形成する思い出の場・物を表 2.1-12 に、それぞれの SD 法アンケート調査結果を表 2.1-13 に示します。

表 2.1-12 B'グループの細分類

グループ		思い出の場・物
B'		・畑瀬橋の西畑瀬側から豊富宮の風景 ・畑瀬橋の東畑瀬側から権現山の風景
		・大串の浦川橋からの風景 ・北山小学校からの風景 ・東畑瀬の集落と権現山の風景
		・天神杉 ・西畑瀬代替地から権現山の風景

表 2.1-13 B'グループの細分類毎の思い入れの場・物のSD法アンケート調査結果

グループ	B'		
SD法アンケート調査結果			
	<p>グループは、概ね、「趣のある」から「貴重な」にかけて 2 前後を示しており、これは、図 2.1-9 に示す A'グループと同様の傾向を示しています。</p>	<p>グループは、ほぼ全ての形容詞で 3 前後、つまり「どちらともいえない」を示し、特に「趣のある」から「荘厳な」にかけては 3 前後を示してその傾向が顕著に出ています。ただし、「自然豊かな」については 2 前後を示し、強く出ていると言えます。また、北山小学校からの風景については、「地域とのつながりを感じる」が強く出しており、小学校という身近な場所から見える風景であることが反映されていると考えられます。</p>	<p>グループは、全体的にはグループと同様の傾向を示しますが、「美しい」及び「自然豊かな」に対してのみ 2 以下と強く出ていることと、「文化的な」、「古い」及び「地域とのつながりを感じる」が 3 前後と平均的な評価を示しているのが大きな特徴です。</p>

表 2.1-13 から、グループについて、「荘厳な」を境として、上側は「畑瀬橋の西畑瀬側から豊富宮の風景」と「畑瀬橋の東畑瀬側から権現山の風景」で等間隔の開きを保ったまま同じような傾向で 2 前後と強く出ています。「荘厳な」の下側は、「見つけにくい」及び「訪れたい」は 3 前後を示しているものの、「寂しい」、「自然豊かな」、「古い」及び「地域とのつながりを感じる」は 2 前後と強く出ており、しかも、ほとんど同じ傾向を示しています。

グループについて、「見つけにくい」、「寂しい」及び「地域とのつながりを感じる」においてばらつきがあるものの、「大串地区の浦川橋からの風景」、「北山小学校」及び「東畑瀬の集落と権現山の風景」とも、ほとんどの形容詞で 3 前後を示し、さらに、ほとんど同じ傾向を示しています。

一方、グループは、「天神杉」及び「西畑瀬代替地から権現山の風景」とも極めて同じ傾向で 1 と 3 の間で、ジグザグ状態を示しています。

これら 3 グループのうち、グループ、具体的には、「畑瀬橋の西畑瀬側から豊富宮の風景」及び「畑瀬橋の東畑瀬側から権現山の風景」の両者は、いずれも 2 前後を示す形容詞が多く、「思い」が強く出ている、すなわち、「思い入れの景観」として高い評価を示しており、かつ、同じような傾向が読み取れました。そこで、及びグループともに、風景という点では一致していますが、なぜグループは「思い入れの景観」として高い評価を示しているのか、つまり、SD 法アンケート調査結果に違いをもたらしている理由は何なのかについて検討を加えました。

#### a) グループとグループの比較

グループの 2 つには、山や樹木という自然に加え、石造の構造物、しかも、長い年月を経て苔むした周囲の自然に溶け込んだ石造の構造物が含まれているという共通点があります。「畑瀬橋の西畑瀬側から豊富宮の風景」には石及びコンクリート造の畑瀬橋があり、「畑瀬橋の東畑瀬側から権現山の風景」には民家の石垣があります。一方、グループの「天神杉」と「西畑瀬代替地から権現山の風景」には、山や樹木という自然はありますが、石造の構造物はありません。そのため、グループが「思い入れの景観」として評価が高いのは、自然の中に、石造の構造物が長い年月を経て自然に溶け込んだ姿があり、この構造物に人間の営みが造ったという生活の場又は生活感を投影させているからではないかと考えます。これを示すこととして、SD 法アンケート調査結果では、「歴史を感じる」、「文化的な」、「古い」及び「地域とのつながりを感じる」という生活の場又は生活感に密接に関係するような形容詞がグループに比べてグループは弱く出ています。

#### b) グループとグループの比較

グループについて、「大串の浦川橋からの風景」には石及びコンクリート造の構造物はありますが、この風景の主体は山々であり、生活の場又は生活感を投影させることはできないと考えます。さらに、「北山小学校からの風景」も、風景の主体は山々で、生活の場又は生活感を意識させる集落もありますが、この集落は代替地であり、今後、生活の場や生活感を形成していく場です。従って、現時点では、生活の場又は生活感を投影させることはできないと考えます。一方、「東畑瀬の集落と権現山の風景」には、かつては東畑瀬の集落が広がっていましたが、今はほとんど移転が完了し、写真からでは集落の形跡を確認することは困難であり、生活の場又は生活感を投影させることはできず、山々が主体となった風景となっていると

考えます。そのため、「自然豊かな」については、及びグループとも、2前後と強く出ていますが、その他の形容詞について、グループに比べてグループは弱く出ています。

なお、ここでは、全調査対象者の平均値を用いて、それぞれの思い入れの場・物の相対的な位置付け又は意味合いを把握することを目的として検討を行ってきました。そのため、調査対象者によっては、ここに記載した内容以上のことが読み取れる場合もあると考えています。さらに、写真で示した思い入れの場・物に対してSD法アンケート調査を行っていますので、あくまでも、写真に対する「思い」を反映している結果であると考えています。



## (2) 今後の取り組み

今後の取り組みを検討する上で、重要な視点は、SD 法アンケート調査結果において、「残したい」といった結果が強く現れた思い入れの場・物そのものの存続です。そのため、「残したい」が強く読み取れるものに対して、今後の取り組みについて検討しました。

「(1) 思い入れの場・物に対する「思い」の質の検討」に示した SD 法アンケート調査結果から、天神杉、夫婦石、眼鏡橋及び白鬚神社について、「残したい」が特に強く読み取れましたので、これらの思い入れの場・物に対して今後の取り組みについて検討しました。

ここで、天神杉等と同様に「残したい」が特に強く読み取れたもののうち、既に取り組み内容が決定しているもの、また、現実的な取り組みが想定できないものについてはここでの検討は行わないこととしました。

これまでの検討内容を受けて、思い入れの場・物に対する「思い」と今後の取り組みを考える上での留意点を表 2.1-14 に示します。

表 2.1-14 思い入れの場・物に対する住民の「思い」と今後の取り組みを考える上での留意点

思い入れの場・物	「思い」と今後の取り組みを考える上での留意点
天神杉	天神杉は、佐賀県の名木・古木に指定されており、樹齢 500 年とされています。天神杉の根元には、天神様を祀った祠があり、東畑瀬地区の住民の間では御神木のような存在と考えられますので、天神杉を地域の守り神とした自然信仰が存在したことを次世代に継承するような、住民の天神杉に対する信仰心を生かすような形で、次世代への継承が必要と考えられます。
夫婦石	夫婦石は、栗並地区の住民にとっては、豊作を願って祈願する場所であり対象でもあります。そのため、場所や姿形は変わることになるかもしれませんが、住民の生活基盤である農業と密接に繋がり、豊作祈願の対象として、継承されていく必要があると考えられます。
眼鏡橋	眼鏡橋は、菖蒲地区の玄関口であり、シンボルです。菖蒲地区の住民にとっては、先祖の苦勞の結晶であり、この先祖の苦勞という無形のものを眼鏡橋という有形のものに投影させる形で、次の世代、その次の世代へと伝えたいと願っています。そのため、菖蒲地区の住民の目につきやすい場所にあることが望まれていると考えられ、この継承と場所に注目し、今後の取り組みを検討していく必要があると考えられます。
白鬚神社	白鬚神社は、約 130 年続く鉦浮立が開催される場所でもあります。そのため、場所が非常に重要となり、この点を踏まえて、今後の取り組みを検討していく必要があると考えられます。

なお、「残したい」が特に強く読み取れたもののうち、現実的な取り組みが想定できないものとして、思い入れの景観が該当します。確かに、思い入れの景観そのものを現状のまま残すことは、貯水池の存在といった直接的な改変によって逃れることができません。しかし、「残したい」を強く意識させた要因、つまり、「残したい」を意識させる思い入れの景観の構成要素に注目した場合、その構成要素を新たな景観形成の中に取り込んでいくことで、思い入れの景観の存続といったことが可能と考えます。

例えば、「(b) B'グループ」で述べたように、周辺の自然と一体化した石造構造物に、多くの人が「残したい」といった意識を強く持っていました。そのため、石橋や石垣、そのような要素を、今後の地域景観づくりの中に取り入れていくことにより、その地域の景観を新たに「思い入れの景観」として継承していくことが可能ではないかと考えます。思い入れの景観そのものの存続ではありませんが、思い入れの景観への「思い」を継承できると考えます。

思い入れの場・物は、その特性上、地域づくりという観点から、地域の人々が地域のために議論をし、結論を導き出すものです。そのため、本報告書では、思い入れの場・物に対する住民の「思い」と今後の取り組みを考える上での留意点を整理しました。

その結果を踏まえて、今後の取り組みとして、生活・風土に関する価値観を地域と共有し、保全の方策を協議していきます。